

宮城教育大学

大学案内 | 2027

教育の未来と
子どもたちの
未来のために



Miyagi University of Education



国立大学法人
宮城教育大学

宮城教育大学の魅力

「学び続け、深化する教師」を養成します

POINT 01 東北唯一の教員養成単科大学

- 本学は、1965（昭和40）年に東北大学から分離し、2025年に創立60周年を迎えました。
- 幼稚園、小学校、中学校（10教科）、高等学校（11教科（R9年度入学者から））、特別支援学校（5領域）の教員免許の取得に対応しています。所定の単位を修得すれば、卒業までに複数の教員免許を取得することができます。
- 特別支援教育は、5領域（視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱）と発達障害を専門とするスタッフがそろっています。

POINT 02 学校現場での体験

- 学内での講義科目〔専門基盤科目/専門教育科目/専門拡充科目〕のほか、学校現場での教育実習〔附属学校園（3年次）/協力校（4年次）〕および実習に関連づけられたキャリアステップアップ科目によって、理論と実践の往還を体験し、確かな実践力を身につけることができます。
- 学校現場での体験活動、1年次学校体験（ふるさとインターンシップ）、ボランティアに対する支援体制が充実しており、3年次からの教育実習に先駆けて、早いうちから学校現場での経験を積むことができます。

POINT 03 「人間力」を育てる少人数教育

- 社会の急速な変化に対応できる「生涯学び続ける教員」を養成するための充実したカリキュラムやスタッフ、就職支援体制等を備えており、入学から大学卒業後の教員就職までの手厚いサポートはもちろん、在学中のみならず教員就職後も学び続けるためのサポートも行っています。
- 学生と教員との距離が近く、少人数教育できめ細かな指導を受けることができます。多彩な専門分野の教員の指導を受けることで、コミュニケーション能力を身につけながら、学校教員を目指す学友たちとともに豊かな人間性を育み、成長していくことができます。



MESSAGE

みなさんとともに

～宮城教育大学は創立60周年を迎えました

宮城教育大学長 松岡 尚敏



宮城教育大学は、1965(昭和40)年に東北大学から分離独立する形で開学して以来、昨年2025年に創立60周年という節目の年を迎えました。開学以来、一貫して「教員養成教育に責任を負う大学」を標榜し、その60年の歴史の中で、東北の各地域をはじめとしながら、全国において、数多くの優秀な学校教員を輩出してきています。

本学は、開学以来おおよそ10年程度の間隔をおいて、当時の教育事情に即しながら、教育学部の組織やカリキュラムなどを改革してきました。直近の教育学部改組は、2022年度に実施し、昨年度から、この新しい教育学部が、1年次から4年次まで全学年でスタートしています。この『大学案内2027』では、こうした教育学部の新しい姿について、ページを追って順次記載しています。

教育・入試や学生生活といったソフト面では、本学の目的である教員養成という機能のさらなる充実・発展をめざして、いろいろな工夫を加えて構想しています。組織では、「初等教育専攻」「中等教育専攻」「特別支援教育専攻」というそれぞれの学校種に即した専門性を育成する専攻を設けています。また、音楽・美術・保健体育・技術・家庭科という実技・技能系の教科については、こうした専攻とは別個に、初等教育と中等教育とを統合した形での「芸術体育・生活系教育専攻」という独自の専攻を設置しています。

カリキュラムにおいては、学校教員の職務に応じた教職および教科に関する「専門教育科目」を開設するとともに、学校教員としての基盤的な資質・能力を養う「専門基盤科

目」、並びに副免許状の取得など学校教員としての専門性の拡大と充実をめざした「専門拡充科目」といった科目群も充実させています。また、入試においては、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜(前期日程・後期日程)」のそれぞれにおいて、教職への強い興味・関心をもった志願者の確保に力を注いでいます。さらに、「豊かな人間性」や「広い教養」を培うことをめざして、サークル活動・ボランティア活動などの課外での学習機会の充実にも留意するとともに、学生の主体的・協働的な活動の支援にも積極的に力を入れています。

一方、施設・設備をはじめとしたハード面の整備においても、様々な取り組みを行っています。学生の主体的・協働的な学修活動に供するための共同利用スペースの整備や、様々なICT機器が利用可能な教室の整備にも取り組んでいます。また、2024年3月には、個室タイプの新しい学生寮がキャンパス内に完成しました。今後は、自然豊かな青葉山の環境を生かしながら、学生たちが共に語り合い、共に支え合い、共に創造し合えるキャンパスアメニティの向上にも取り組んでいきます。

以上のような新しい宮城教育大学の姿に興味・関心を持った方は、是非、この『大学案内2027』をじっくりと味わいながら読んでみてください。そして、毎年、夏の時期に開催されるオープンキャンパスにも直接足を運んでみてください。本学の先輩たちや教職員は、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

Contents (数字はページ番号)

01 宮城教育大学の魅力	13 特別支援教育専攻	18 震災学習・学校防災の教育研修 海外留学について	23 Student Life
02 学長あいさつ	15 学部カリキュラム	19 キャリア形成支援・就職支援 就職状況	25 入試制度
03 教育方針	16 キャリアステップアップ科目の紹介 学部・大学院接続プログラム	20 卒業生からのメッセージ	27 入試情報
05 各専攻の紹介	17 1年次学校体験(ふるさとインターンシップ) ボランティア活動	21 Campus Life	28 学費・奨学金
07 初等教育専攻			29 教職大学院
09 中等教育専攻			31 キャンパスマップ
11 芸術体育・生活系教育専攻			

教育方針

アドミッション・ポリシー

入学者受入方針

1 基本理念・目標

宮城教育大学は、幅広い視野と教養、高度の専門性、実践的な指導力を有するとともに、強い使命感と情熱、高い倫理観をそなえた教員を養成する教員養成大学です。将来、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校等において、幼児・児童・生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切にしながら、生涯にわたって学び続ける、優れた資質・能力を持つ教員の養成を使命としています。

2 求める学生像

- 教員となることに強い目的意識を持つ者
- 協調性と向上心を持ち、教員や人間として成長を目指す者
- 教員としての資質・能力を身につけるのに十分な基礎的な知識・技能を有する者
- 基礎的な知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を有する者

3 入学者選抜の基本方針

宮城教育大学では、上記の基本理念・目標にふさわしい学生を受け入れるために、学校推薦型選抜、総合型選抜および一般選抜（前期日程、後期日程）を実施し、学力の3要素（①基礎的な知識および技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価して、入学者を選抜します。

学校推薦型選抜

初等教育専攻および特別支援教育専攻において、学校長の推薦に基づいて出願する者に関し、出願時の調査書および「学校推薦型選抜レポート」により教員への志向性や基礎的な知識および技能を確認しつつ、「専攻別課題」により知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、「集団面接」および「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価して、入学者を選抜します。なお、大学入学共通テストは課しません。

総合型選抜

芸術体育・生活系教育専攻において、出願時の「総合型選抜レポート」により教員への志向性および思考力・判断力・表現力等の能力を確認しつつ、「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、「実技（芸術・体育系教育コースのみ）」により各教科への志向性と技能、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能を総合的に評価して、入学者を選抜します。ただし、宮城県以外の地域において教職に就くことを強く希望する者を対象とした地域定着枠での合格者については、大学入学共通テストは課しません。

一般選抜（前期日程）

初等教育専攻、中等教育専攻および特別支援教育専攻において、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能、個別学力検査等として課す「教育小論文」により教員への志向性および思考力・判断力・表現力等の能力、各教科の学力試験によりそれぞれの分野を中心とした基礎的な知識および技能を総合的に評価して、入学者を選抜します。

一般選抜（後期日程）

初等教育専攻において、出願時の「教員志望理由書」により教員への志向性を確認しつつ、大学入学共通テストにより基礎的な知識および技能、個別学力検査等として課す「個人面接」により教員への志向性や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価して、入学者を選抜します。

ディプロマ・ポリシー

学位授与方針

宮城教育大学は、教員養成に責任を負う大学として、専門性や実践的な指導力を有するとともに、高い倫理観と使命感、情熱を持ちつつ、幼児・児童・生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切にしながら、生涯にわたり学び続ける優れた資質・能力を持った教員を養成します。

- 1 学校教育や教職に関する専門的知識および技能を身につけている。
- 2 学習指導に関する理論および方法を活かしながら、教育実践を展開する基礎を身につけている。
- 3 幼児・児童・生徒に対する理解・尊重を基盤としながら、生徒指導に向けて協働しつつ適切に対応する姿勢を身につけている。
- 4 学校の構成員としての役割を理解し、教職員や保護者や地域等と連携・協働しながら、学校を運営していこうとする態度を身につけている。
- 5 教員としての倫理観と使命感、幅広い教養と知性を基にした適切な行動ができる。
- 6 学校教育における様々な課題を認識し探求心を持って主体的に学び続ける基盤ができている。
- 7 上記1～6のほか、専攻における学修に応じた資質・能力を身につけている。

宮城教育大学のすべての学生が、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる資質・能力を身につけて、学校現場で活躍することを目標として、以下に示す3つの科目区分を基盤とした教育課程を編成し、実施します。

1 専門基盤科目

専門基盤科目は、すべての学生が、幅広い視野を養い、教員としての基礎的な資質・能力を培うことを目的として授業科目を構成しています。

1 基礎科目

基礎科目は、教育職員免許法で履修が義務づけられている「日本国憲法」、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」、「健康・運動系科目(体育)」および「外国語コミュニケーション」の4科目と、教員養成大学として学校現場で必須と捉えている「防災教育」に、「外国語科目」を加えた6科目を必修科目として設定しています。

2 教養科目

教養科目は、人間・社会・自然に関する知識を得て視野の拡大をはかるための「知る科目」、課題解決力・思考力・応用力・人間性等を磨くための「磨く科目」、教職への志向性・使命感・教育の基盤となる力を育むための「育む科目」の3つのカテゴリーから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、学校教員の基盤となる教養や資質・能力を醸成します。

2 専門教育科目

専門教育科目は、各専攻で卒業要件として設定された教育職員免許状を取得するために必要となる授業科目として、次の4つのカテゴリーから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、教育職員免許状の取得を目指します。また、生涯にわたり学び続ける教師としての資質を身につけるために「卒業研究」を必修科目として設定しています。

1 教育の基礎的理解に関する科目

教育の理念、教職の意義・役割、学校教育の社会的・制度的な知識、児童生徒の心身の発達および学習の過程、特別の支援を必要とする児童生徒に対する理解、学習指導要領を基準とした教育課程の意義および編成方法など、教育職員として理解しておくべき基礎的な内容を学修します。

2 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

道徳、総合的な学習の時間、特別活動、教育相談、進路指導などに関する理論や指導法について学修します。

3 キャリアステップアップ科目

「教育体験初年次演習Ⅰ・Ⅱ」「教育実践探究演習」「3年次教育実習」「4年次教育実習」「教職実践演習」など、4年間継続した観察・参加・実習という方法により教育実践に関わることによって、学校教育の実際を体験的・総合的に理解します。

4 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関して、各専攻で設定した授業科目を履修します。また、専攻・コースの特色を示す「コース専門科目」を履修することにより、学生の専門分野・得意分野を形成します。

3 専門拡充科目

専門性の更なる高度化、副免許や資格の取得などの科目群「パッケージ」を設定し、将来を見据えた明確な計画のもとで、学生が主体的・自覚的に履修します。

学修成果については、それぞれの授業科目のシラバスにより示された成績評価の方法に従って公正かつ厳格に行い、「S・A・B・C・D」の5段階で評価します。ただし5段階での評価が難しい授業科目については、「合格・不合格」で評価します。学修成果の評価にあたっては、適切な評価基準を定め、講義、演習、実験、実習及び実技等の授業形態に応じて、筆記試験、レポート、発表、討論、実技試験等やそれらを複合した方法により行います。

教育の未来と子どもたちの未来を担う教師となるための学修を重ね、4年間に、次の項目に示す資質・能力を身につけた者に対して卒業を認定し、「学士(学校教育学)」の学位(ディプロマ)を授与します。

初等教育専攻

発達段階に応じた指導力とともに、小学校の各教科等に関する知識・技能を身につけている。

中等教育専攻

専門の教科等に関する知識・技能を基盤として、生徒に適切に対応する学習指導力を身につけている。

芸術体育・生活系教育専攻

芸術体育・生活系の教科等を中心として、異校種または複数教科にわたる教科等に関する知識・技能を基盤として、生徒に適切に対応する学習指導力を身につけている。

特別支援教育専攻

学校における教育活動を通して、児童生徒が障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服できるよう、個性や障害の特性に応じた支援ができる指導力を身につけている。

各専攻の紹介 —専攻長メッセージ—

初等教育専攻

すべての小学校教員にとって必要な資質・能力の育成を重視し、特定の教科や学問分野・領域に特化することなく、「幼年期教育創生コース」「未来づくり教育創生コース」「人文・社会系教育創生コース」「理数・自然系教育創生コース」という大くくりの4つのコースを設定しています。入学試験では専攻全体で一括選抜し、2年次より、それぞれのコースに配属されます。

専攻共通科目や各コースでのコース共通科目を開講することにより、自分の得意分野を伸ばしてもらおうとともに、他の専門分野・領域における相互の学び合いを重視した学生指導を実施します。



初等教育専攻では、就学前から初等教育までの育ちがその後の人生に大きな影響を与えることを認識し、初等教育にやりがいと使命を感じる学生が集い学んでいます。全専攻に共通の授業科目に加えて、「小学校(幼稚園)における各教科(領域)等の教育法」や「小学校(幼稚園)の教科(領域)等に関する専門科目」を履修します。2年次以降は所属コースでの「コース専門科目」等を履修しながら、教員としての個性や特徴を形作っていきます。また、不得意な領域の克服にも対応できるカリキュラムを用意しています。

専攻では、学校園の参観や学校ボランティア、教育実習等の実践的学びの機会を豊富に提供しています。みなさんも4年間の大学生活を通して人間力を磨き、子どもたちに夢を与える実践的指導力をもった小学校教員となることを目指しませんか。

初等教育専攻長
市瀬 智紀 教授

中等教育専攻

中学校(および高等学校)の教員を養成する専攻です。多様な専門分野・領域を学ぶ学生たちがお互いに学び合い、教師としての広がりや奥行きを身につけるといふ「教員養成大学ならではの学び」を実現するために、特定の分野・領域の学問を専門的に学ぶ専攻とはせず、「言語・社会系教育コース」「理数系教育コース」という2つの大くくりのコース設定としています。

教育課程全般について総合的に俯瞰できる力の育成も視野に入れつつ、卒業要件となる教科の免許に加えて、他教科や他校種の免許についても取得しやすい教育課程となっています。



中等教育専攻の特色は、複数教科を対象とする他専攻とは異なり、国語・社会・英語・数学・理科といった「専門の教科等に関する知識・技能」を高めることが求められている点にあります。とはいえ、今後学校現場で教えるべき内容自体、各教科の背景にある学術研究の深化やそれに対する社会的評価の変化などにより、将来的にも変わっていく可能性が高いため、大学の4年間はまさに学び方を学ぶような、あくまで成長の機会の一部にすぎず、教員は教員である限り常に学修を続けることが必要となる点を、改めてご承知おきください。

その一方で、人間の社会や生活が多様な要素から成り立っている点からすれば、各教科や各分野の対象事項もそれのみで閉じているわけではなく、様々な形で相互関係を有しています。本学が皆さんにとって、個別の分野に一層踏み込む機会とともに、広い世界に目を向け、そうした関係性に気がつく可能性も提供してくれる場となることを祈念しています。

中等教育専攻長
田中 良英 教授

芸術体育・生活系教育専攻

「音楽」・「美術(図画工作)」・「保健体育(体育)」・「技術」・「家庭科」という芸術体育・生活系の教科に関して、初等教育教員の養成と中等教育教員の養成とを統合した専攻です。

宮城県をはじめとした東北地方全体における教員採用状況に対処していくために「小中履修型」と「中等連携履修型」を設けることにより、複数の免許状を取得することを基本としたカリキュラムになっています。「小中履修型」では、中学校における芸術体育・生活系の教科の免許状の取得に加えて、小学校教諭の免許状も併せて取得します。また「中等連携履修型」では、中学校における芸術体育・生活系の教科の免許状の取得に加えて、中学校における他教科の免許状(国語、外国語、数学のいずれか)も併せて取得するカリキュラムになっています。



芸術体育・生活系教育専攻では、音楽・美術・保健体育・技術・家庭といった、感性や身体、日々の生活に関わる分野を通して、人を育てる力を学びます。これらの学びは、子どもたちの豊かな人間性や健やかな成長を支える重要な役割を担っています。本専攻では、専門的な知識や技能の習得に加え、それらをどのように子どもたちに伝えるかという教育の視点を大切にしています。授業や実習、仲間との学び合いを通して、自分の「好き」や「得意」を深め、それを教育に生かす力を育てていきます。

また、将来の進路に応じた履修や実践的な学びを通して、現場で求められる力も身につけていきます。さらに、主体的に学び続ける姿勢を養い、自ら成長し続ける教育者を目指します。将来、子どもたちの成長に寄り添う皆さんと出会えることを、心より楽しみにしています。

芸術体育・生活系教育専攻長
西川 重和 教授

特別支援教育専攻

特別支援学校(視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱)の教員を養成する専攻です。特別支援教育のエキスパートとして特別支援学校に勤務して活躍する教員のほか、一般の学校において特別支援教育の指導的な役割を担う教員を養成します。

4つのコース(視覚障害教育コース、聴覚・言語障害教育コース、知的・発達障害教育コース、肢体不自由・病弱教育コース)に分かれて、それぞれの障害種に応じた専門的な知見及びそれを実際の教育活動に結び付けていくことのできる、実践的指導力を学びます。また、各コースに「小履修型」と「中履修型」を設けることで、特別支援学校の小学部、中学部、高等部における教員養成を網羅することを目指しています。入学試験では専攻全体で一括選抜し、2年次より、それぞれのコースに配属されます。



本学は、特別支援学校5領域(視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)の教員免許状を全て取得可能な、全国でも数少ない大学です。これに加え、発達障害等の通常学級における特別な教育的ニーズのある子どもたちや重複障害のある子どもたちを指導・支援するための専門性を身に付けるカリキュラムも充実しています。障害の有無に関わらず、一人一人の特別な教育的ニーズに応えるための特別支援教育は、いわば「オーダーメイド」の教育であり、「教育の原点」とも言われています。学習上・学校生活上にさまざまな制限のある子どもたちの可能性を、最大限に引き出し、伸ばしていくための理論や実践を深く学んでいきます。特別支援教育では、子ども一人一人の学びや育ちの実態・特性を適切に見立て、指導に必要な教材・教具や支援の方法を自分で創り出すことも必要になります。「手作り」の教育を自らの創意工夫で積み重ねていく、そんなチャレンジ精神に溢れたみなさんを待っています。

特別支援教育専攻長
松崎 丈 教授

初等教育専攻

確かな学力と実践的指導力を備えた、個性あふれる幼稚園教諭・小学校教員の育成を目指します



オールラウンドな力と子どもの成長を見守る目

就学前教育や初等教育にたずさわる教員には、オールラウンドな知識に加え、幅広い年齢にわたる子どもたちの発達過程に応じた子ども理解・適切な指導力が必要です。しかも、子どもたち自身だけでなく、子どもたちを取り巻く環境は常に変化していきますので、教員にはそれに対応するために必要な柔軟性やコミュニケーション能力、豊かな人間性が求められます。

初等教育専攻では、教員に求められる基盤的な資質・能力を身につける「専門基盤科目」、教職など教育の基礎的理解に関する科目や教育実習および関連諸科目からなる「専門教育科目」など、全専攻に共通した授業科目を通じて、確かな知識・実践的指導力・コミュニケーション能力を身につけた、人間性豊かな教員の養成を目指しています。

教科横断的な4コースから形成される総合的な学び

全専攻に共通する授業科目の履修をベースとしながら、それに加えて「小学校(幼稚園)における各教科(領域)等の教育法」や「小学校(幼稚園)の教科(領域)等に関する専門科目」を履修します。これらの授業科目で卒業要件単位の約8割を占めますが、さらに所属コースでの「コース専門科目」等を履修し、得意分野を伸ばして個性を磨きます。

取得可能免許

コース	卒業の要件を満たせば取得できる免許状	卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※
幼年期教育創生コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園1種 ■ 小学校1種 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校1種(2種) ■ 高等学校1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
未来づくり教育創生コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校1種 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園1種(2種) ■ 中学校1種(2種) ■ 高等学校1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
人文・社会系教育創生コース		
理数・自然系教育創生コース		

※ 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。
 ※ 希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。

▶ 幼年期教育創生コース

このコースのみ、小学校(1種)の教員免許状に加えて、幼稚園(1種)の教員免許状の取得が卒業要件となっています。子どもの発達と教育に関する広い視野と高い専門性を身につけた、実践力のある幼稚園教諭や、就学前教育との接続・連携についての理解と指導力のある小学校教員を養成します。



▶ 未来づくり教育創生コース

教育学や教育心理学等の研究成果をベースに、子どもの発達と適切な指導法や学力・コンピテンシーについての学びを深めるほか、地域社会と学校とのかわり等の教育課題を踏まえつつ、未来を見据えた教育の構想づくりや、多文化共生社会の実現に向けた取り組みなどについての学びを通して、現代的な学校教育課題について複合的・多角的に考察できる小学校教員を養成します。



▶ 人文・社会系教育創生コース

言語活動の充実と共生社会の実現を目指して、ことばについての知識と理解を深めるほか、コミュニケーション能力を向上させ、さらに現代社会に関する多面的な知識と理解を身につけることを通して、国語・英語・社会科等を得意とする実践的指導力のある小学校教員を養成します。



▶ 理数・自然系教育創生コース

数理・自然科学の各専門分野について一定の基礎知識を身につけた上で、自分自身の関心ある分野についての学びを深めることで、自然科学を学ぶことの意義や楽しさを授業や実験を通じて子どもたちにしっかり伝えることができ、算数・理科等を得意とする実践的指導力のある小学校教員を養成します。



在学生

Voice!

理数・自然系教育創生コース/3年

遠藤 賢信さん 福島県立磐城高等学校卒業

理数・自然系教育創生コースは、大学数学や理科に加え、実際の学校教育現場でどのような授業づくりをしていくべきなのかを学んでいくコースで、小学校の免許だけでなく中学・高校の数学や理科の免許取得を目指している方々が集まっています。この大学には、1年生から附属小学校への見学や母校へ学校体験があるなどの、教師になることへのモチベーション向上に繋がる取り組みがたくさんあります。どれも皆さんにとって貴重な体験で良い経験になるはずです。そんな宮教で教師を目指してみませんか？



中等教育 専攻

子どもから大人へと変容し始める生徒たちに適切に対応することのできる、確かな専門的学力と実践的指導力のある教員の養成を目指しています



担当教科に関する深い専門性と実践力／ 適切な生徒指導ができる指導力と豊かな人間性

中学校・高等学校教員には、担当教科に関する専門的な知識と、それを生徒たちにしっかり伝えることのできる実践力が必要です。また、子どもから大人へと変容し始める生徒たちに適切に対応する指導力と、それを支える豊かな人間性が求められます。本専攻は、全専攻に共通する各種授業科目の履修によって得られる、教養や学校教育理解・児童生徒理解

をベースにしながら、「言語・社会系教育コース」あるいは「理数系教育コース」におけるそれぞれの「教科及び教科の指導法に関する科目」等を通じて、理論に裏打ちされた専門的な学力と実践的指導力とのバランスのとれた、指導力ある教員の育成を目指しています。

取得可能免許

コース・教科		卒業の要件を満たせば取得できる免許状		卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※2
言語・社会系教育コース	国語	■ 中学校1種(国語)	■ 高等学校1種(国語)	■ 幼稚園1種(2種) ■ 小学校1種(2種) ■ 中学校(他教科)1種(2種)
	社会	■ 中学校1種(社会)※1		
	英語	■ 中学校1種(英語)	■ 高等学校1種(英語)	
理数系教育コース	数学	■ 中学校1種(数学)	■ 高等学校1種(数学)	■ 高等学校(他教科)1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
	理科	■ 中学校1種(理科)	■ 高等学校1種(理科)	

※1 社会における高等学校1種(地理歴史又は公民)は、卒業要件に加え一定の単位を積み上げることで取得が可能です。

※2 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。

また、希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。

▶ 言語・社会系教育コース

国語 言語活動を支える、広くかつ深い知識と実践力を備えた国語教員を養成する

中学校・高等学校において「国語」を教えるための基礎となる国語学・国文学・漢文学などの各分野及び国語科教育の専門科目の学びを通して、高い資質と確かな指導力を備えた国語教員を養成しています。



社会 現実社会と向き合いながら確かな指導力を持った社会科教員を養成する

地理学、歴史学、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学の基本的な考え方を学ぶ「概論」のほか、社会科教育の理解と指導方法を学ぶ社会科教育学の科目、個別の専門分野・テーマを掘り下げる各分野の「講義」と「演習」での学びを通して、指導力ある社会科教員を養成しています。



英語 グローバル社会の進展に対応し、知識・技能だけでなく実践力のある英語教員を養成する

英語教育学・英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解という、相互に関連した領域の学びを通して、実践力のある教員を養成しています。授業のほかに英語圏への短期／長期の留学をサポートするなど、英語による実践的なコミュニケーション能力と、学校教員としての指導力を身につけた英語教員を養成しています。



▶ 理数系教育コース

数学 広い視野と優れた能力をもった、実力ある数学教員を養成する

中学校・高等学校において数学を教えるための基礎となる、数学(代数学・幾何学・解析学など)および数学教育の専門科目を学ぶことによって、高い資質・能力と確かな指導力を備えた数学教員を養成しています。



理科 自然科学についての専門的な知識と、確かな指導力を持つ理科教員を養成する

理科の教育内容の柱である物理・化学・生物・地学の4分野を網羅して自然科学について広くかつ深く理解しながら、理科の指導法や教材作成などを実践的に学ぶことを通して、中学校・高等学校の教員として確かな指導力を持つ理科教員を養成しています。



在学生

Voice!



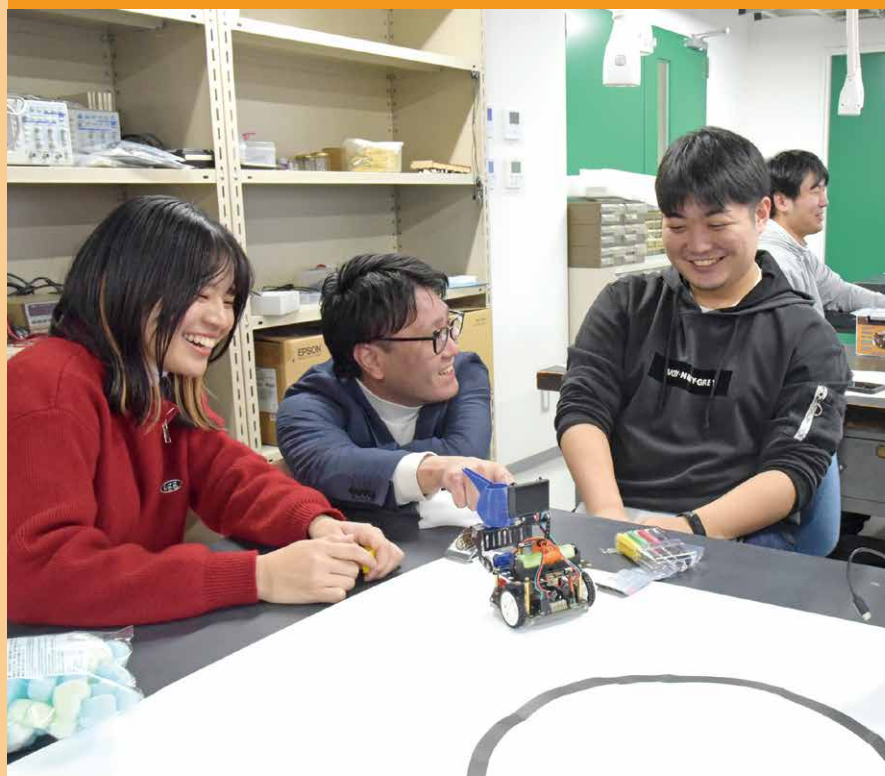
言語・社会系教育コース(社会)／3年

川口 萌々香さん 青森県立八戸高等学校卒業

私が在籍している言語・社会系教育コース(社会)では、学校現場で社会科教育に必要な知識や指導力を、段階的に身に付けることができます。授業づくりの方法や、生徒の発達段階に応じた教え方についても、実践的に学ぶことが特徴です。附属中学校の授業見学をはじめ、1年次からふるさとインターンシップを活用して学校現場を経験でき、早い段階から将来を見据えた活動を行うことができます。教師を目指す皆さん、ぜひ宮城教育大学でその夢を実現させましょう!

芸術体育・生活系教育 専攻

実技・技能系教科に関する深い知識と専門的技能・技術とを兼ね備えた、指導力ある教員の養成を目指しています



教科に関する深い知識と専門的技能・技術、豊かな教養に支えられた創造性

本専攻では、全専攻に共通する授業科目の履修をベースとして、「芸術・体育系教育コース」および「生活系教育コース」の2つのコースで、小学校または中学校の各教科の「教科の専門的事項に関する科目」を通じて、理論に裏打ちされた専門的な学力と技能・技術を兼ね備えた実践的指導力とのバランスのとれた、指導力ある教員の育成を目指しています。

卒業要件は、「音楽」・「美術」・「保健体育」・「技術」・「家庭

の中学校(1種)の教員免許状のほかに、小学校(1種)の教員免許状または中学校(1種)の教員免許状(「国語」「英語」「数学」のいずれか1つ)、もしくは高等学校1種(情報)の教員免許状(生活系教育コース技術のみ)を取得することを卒業要件とします。中学校・高等学校での実技・技能系教科の教員としてだけでなく、実技・技能系教科の得意な小・中学校教員を養成します。

取得可能免許

コース・教科		卒業の要件を満たせば取得できる免許状		卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※2
芸術・体育系教育コース	音楽	■ 中学校1種(音楽)	■ 小学校1種 または 中学校1種 (国語、英語、 数学の いずれか1つ) ※高等学校1種(情報)※1	■ 幼稚園1種(2種) ■ 小学校1種(2種) ■ 中学校(他教科)1種(2種) ■ 高等学校1種 ■ 特別支援学校1種(2種)
	美術	■ 中学校1種(美術)		
	保健体育	■ 中学校1種(保健体育)		
生活系教育コース	技術	■ 中学校1種(技術)		
	家庭科	■ 中学校1種(家庭)		

※1 生活系教育コース技術では、中学校1種(技術)に加え高等学校1種(情報)を取得できる履修型を開設予定です。

なお、文部科学省に申請中のため、開設時期等が変更となる可能性があります。

※2 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。

また、希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。

▶ 芸術・体育系教育コース

音楽 専門的スキルと知識を身につけた音楽教員を養成

ピアノや声楽、合唱、合奏、和楽器など音楽に関する実技や、音楽理論および音楽全般にわたる知識の修得に加え、音楽教育について実践的に学ぶことで、音楽を通して豊かな感性と創造力を育成できる音楽教員を養成します。



美術 美術に関する深い知識とスキルを併せ持った教員を養成

美術や図画工作は、表現活動を通して自己の感性を磨き、豊かな創造性を備えた人材を育てるための重要な教科です。美術理論や美術史のほか、絵画・彫塑・デザイン・工芸などの科目を通じて、専門的知識とスキルを身につけ、指導力のある教員を養成します。



保健体育 理論と実践の学びを通して、力量のある保健体育教員を養成

保健や体育・スポーツに関する基礎科学と実技を幅広く学び、具体的な技術や指導法を身につけることで、体育・健康に関する充実した指導によって豊かな心と健やかな体を育成することのできる、保健体育教員としての力量を育みます。



▶ 生活系教育コース

技術 「つくることで学ぶ」を実践できる技術科教員を目指して

ICTやプログラミング、AIなどの情報の技術、デジタルアプリケーションや材料と加工の技術、電気や機械のエネルギー変換の技術、生物育成の技術に関する知識・スキルを身につけ、生活や社会における問題をテクノロジーによって解決していく資質・能力を育成できる教員を養成します。



家庭科 衣・食・住・保育の観点から家庭生活を科学する

衣・食・住など日常生活を構成する多様な要素(モノや技術など)を科学的な視点から分析・考察し、生活をより豊かで奥行きのあるものにするように研究を深めつつ、実験・実習を通して実技に強い家庭科教員を養成します。



生活系教育コース(技術) / 3年

星 颯汰さん 宮城県多賀城高等学校卒業

生活系教育コース(技術)では、解決したい課題や達成したい目標に向かって、プログラミングやものづくりを通して知識やスキルを学ぶことができます。宮教大で学ぶことで、普段の何気ない日常が、様々な技術やサービスによって成り立っているということに気づきます。また、様々な人との出会いからたくさんの刺激を受けて、毎日が新しい発見の連続です。宮教大で先生方や友人と共に本気で学んで本気で成長して、一緒に先生を目指してみませんか？

在学生

Voice!

特別支援教育 専攻

障害のある様々な子どもたちに
的確に応えることのできる
教員の育成を目指しています



障害のある子どもの可能性を引き出そう

本専攻では、特別支援学校(1種)の教員免許状のほかに、基礎免許として小学校(1種)の教員免許状または中学校(1種)の教員免許状(1科目選択)の取得が卒業要件となっています。視覚障害教育コース、聴覚・言語障害教育コース、知的・発達障害教育コース、肢体不自由・病弱教育コースの4コースの下、障害のある様々な児童・生徒に的確に応えることができ、一人一人と向き合っ、その可能性を引き出せる教員の育成を目指しています。特別支援教育のエキスパートとして特別支援学校に勤務して活躍する教員のほか、一般の学校において特別支援教育の指導的な役割を担う教員を養成します。

教育現場では特別支援教育の充実が重要な課題となっており、本学は障害のある子どもたちの多様なニーズに応えられる教員の養成に力を入れています。本専攻には、特別支援教育の対象となる全ての障害種別に対応するスタッフが揃い、卒業要件となる単位を超え、さらに他領域の単位を修得することで、5つある特別支援教育領域全ての特別支援学校教諭免許状の取得が可能、全国でも有数のカリキュラムを備えています。以下の所属コースにおいて、特別支援教育全般について広く学びつつ、各コースの専門性を深めることができます。

取得可能免許

コース	卒業の要件を満たせば取得できる免許状	卒業要件を満たし、更に所定の単位を修得すれば取得できる免許状※2
視覚障害教育コース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校1種 (コースに応じて領域※1が指定される) ■ 小学校1種または中学校1種 (1教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別支援学校1種(指定以外の領域) ■ 幼稚園1種(2種) ■ 小学校1種(2種) ■ 中学校1種(2種) ■ 高等学校1種
聴覚・言語障害教育コース		
知的・発達障害教育コース		
肢体不自由・病弱教育コース		

※1 学校教育法第72条に規定する視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む)に関するいずれかの教育領域のこと。

※2 修得しなければならない単位数は、所属するコースや取得を希望する免許状の教科によって異なります。

また、希望する免許状の種類によっては時間割の都合などで取得できない場合があります。

- 特別支援学校教諭免許状取得には基礎免許として小学校教諭1種免許状又は中学校教諭1種免許状(最低1教科)が必要です。
- 中学校教諭1種免許状の要件を満たし、さらに所定の単位を修得すれば、高等学校教諭1種免許状も取得できます。
- 特別支援教育に関する科目について所定の単位をさらに修得することで、特別支援学校教諭1種免許状において指定される全ての領域の免許状を取得することができます。

▶ 視覚障害教育コース

視覚障害教育は、点字の読み書きや白杖歩行の指導、網膜像を拡大する支援機器についての知識を身につけるだけでなく、一人一人の見え方や育ちに寄り添い、個別的な教育的ニーズを踏まえながら、よりよいサポートのあり方を考えたり就学環境を整えたりする必要があります。視覚障害教育コースは、視覚障害の教育的支援の観点から、実践的な理論・技能を包括的に学ぶコースです。また、視覚障害教育の専門家を育てる北海道・東北地区唯一の高等教育研究機関でもあります。



▶ 聴覚・言語障害教育コース

ろう・難聴などの聴覚障害、吃音・構音障害・言語発達遅滞などの障害、さらにはろう重複障害や盲ろう、重度・重複障害のある人の言語やコミュニケーションの問題について、深く学び、研究していくことができます。また聴覚支援学校などの教育実践活動に参加して、教育的支援の実際を理論的・実践的に捉えたり、聴覚障害のある子どもたちや本学学生への支援ボランティアを経験したりすることで、聴覚障害のある人への教育的支援や情報保障についても実践的に学ぶことができます。



▶ 知的・発達障害教育コース

知的障害・発達障害のほか、これらの障害に関連した二次的な困難などについても深く学び、研究していくことができます。具体的には、知的障害や発達障害のある子どもたちへの教育的支援の方法やそれを支える教育制度、障害の背景にある心理的・生理的メカニズムや原因疾患、これらに関連する教育的評価の方法などについて学ぶことができます。さらに、3年次から履修できる「知的障害への教育支援演習」では、知的障害特別支援学校の見学や専門的指導技法の演習などを通して、実践的な学びを深めることができます。



▶ 肢体不自由・病弱教育コース

肢体不自由や病気のある子どもたちが体験する困難や教育的ニーズを深く理解した上で、それらに対応するための教育的支援のあり方について実践的に学び、教材・教具や補助具、ICT機器などを用いた具体的な支援や指導の方法を身につけます。また、ボランティア等の経験を通して、身体機能の障害や病気のある子どもたちとのかかわり方を考え、実践的に学ぶことができます。



在学生

Voice!

発達障害教育コース/3年

松本 響佳さん 岩手県立不來方高等学校卒業

特別支援教育専攻では、特別支援の幅広い領域の免許を取得するとともに他の様々な教員免許も同時に取得することができます。また、1年生から支援学校や附属小学校への見学、1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)などがあるため教員になった時のことを考えながら勉強に励むことができます。ぜひ皆さんも自分の学びたいことを全力で学ぶことができる環境が整っている宮城教育大学で学んでみませんか!



学部カリキュラム

1

専門基盤科目

専門基盤科目は、すべての学生が、幅広い視野を養い、教員としての基礎的な資質・能力を培うことを目的として、以下の2つのカテゴリから科目を履修します。

基礎科目

- 日本国憲法
- 情報活用の基礎
- 健康・運動系科目
- 外国語科目
- 外国語
コミュニケーション
- 防災教育

教養科目

- 知る科目
- 人権教育
- 人間と音楽
- 教育とコンピューター・データサイエンス入門
- 性・文化・ジェンダー
- 東北の教育と人づくり*
- 東北・宮城の教育事情*
など

磨く科目

- コミュニケーション論
- 環境教育
- 情報メディアの活用
- 多文化教育入門
- 地域に根ざした教育実践*
など

育む科目

- 適応支援論
- 子ども学
- 生涯学習論
- 学校の安全管理と防災教育
- 地域フィールドワーク研究*
など

(※) 総合型選抜の地域定着枠、学校推薦型選抜の宮城県内定着枠入学者は必修

2

専門教育科目

専門教育科目は、各専攻で卒業要件として設定された教育職員免許状を取得するために必要となる授業科目として、以下の4つのカテゴリから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、教育職員免許状の取得を目指します。また、生涯にわたり学び続ける教師としての資質を身につけるために「卒業研究」を必修科目として設定しています。

教育の基礎的理解に関する科目

- 教育の原理
- 教職入門
- 教育の制度・経営
- 教育と地域社会
- 発達と学習の心理
- 特別支援教育理解
- 幼稚園教育課程論

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

- 道徳の理論及び指導
- 総合的な学習の時間の指導法(特別活動を含む。)
- 教育課程と教育方法
- 情報活用能力育成実践論
- 児童・生徒理解
- 幼児理解
- 教育相談(カウンセリングを含む。)

キャリアステップアップ科目

- 教育体験
初年次演習
- 教育実践
探究演習
- 3・4年次
教育実習
- 教職実践
演習

教科及び教科の指導法に関する科目

- 〈各教科の指導法に関する科目〉
- 保育内容の指導法
- 各教科の教育法(初等)
- 各教科の教育法(中等)
- 幼稚園の領域科目
- 〈教科に関する科目〉
- 小学校の専門科目
- 中学校の専門科目
- コース専門科目
- 特別支援専門科目

卒業研究

3

専門拡充科目

専門性の更なる高度化、副免許や資格の取得などの科目群「パッケージ」を設定し、将来を見据えた明確な計画のもとで、学生が主体的・自覚的に選択しながら履修します。

特別支援教育に関するパッケージ

初等教育専攻および中等教育専攻の学生が、特別支援学校2種免許状を取得する場合など

小学校1種および2種のパッケージ

中等教育専攻の学生が、小学校1種または2種免許状を取得する場合など

中学校1種および2種のパッケージ

初等教育専攻の学生が、中学校1種または2種免許状を取得する場合など

小型パッケージ

学校防災・安全教育

学校防災教育関係の科目をプラスして取得する場合など

情報活用能力教育

情報活用能力教育関係の科目をプラスして取得する場合など

小学校英語教育

小学校英語関係の科目をプラスして取得する場合など

地域関連教育

東北地域の教育に関する科目をプラスして取得する場合など

グローバル教育

グローバル教育関係の科目をプラスして取得する場合など

特別支援教育

特別支援教育に関する科目をプラスして取得する場合など

小学校教科専門

小学校教科専門に関する科目をプラスして取得する場合など

学校図書館司書教諭

学校図書館司書教諭任用資格を取得する場合

STEAM教育

STEAM教育関係の科目をプラスして取得する場合など

宮城教育大学カリキュラムマップ

Diploma Policyを基にした「資質・能力の柱」	1年次	2年次	3年次	4年次
教師として学び続ける力	教育体験初年次演習I 教育体験初年次演習II	教育実践探究演習A	教育実践探究演習B 3年次教育実習	4年次教育実習/教職実践演習/卒業研究
指導内容の理解と実践力	教科及び教科の指導法に関する科目			
児童生徒の理解と支援		教育課程と教育方法 情報活用能力育成実践論	道徳の理論及び指導/総合的な学習の時間の指導法(特別活動を含む。) 児童・生徒理解/幼児理解/教育相談(カウンセリングを含む。)	
学校教育の基礎的理解	教職入門/教育の制度・経営/教育と地域社会 発達と学習の心理/特別支援教育理解	教育の原理	幼稚園教育課程論	
基盤となる豊かな教養	専門基盤科目(基礎科目、教養科目(知る科目、磨く科目、育む科目))			

キャリアステップアップ科目の紹介

1
年次

教育体験初年次演習

教育体験初年次演習は、卒業後の将来を見据えつつ、教職への関心を培い、教職への意欲・情熱・使命感等を高めるとともに、4年間を見通した学修計画を立てて主体的に学ぶ姿勢を作るというキャリア教育的な要素を持った授業科目です。さらに、大学での専門的な学修や研究に取り組むための技術・能力を磨き、入学後1年間をかけて教育大学の学生としての資質・技能をじっくりと育てるという初年次教育的な要素も併せ持っています。



2
年次
3
年次

教育実践探究演習

1年次開講の教育体験初年次演習Ⅰ・Ⅱが幼児・児童・生徒理解や学校理解、教職理解を主とした総合的・全般的な体験・観察実習活動を取り入れていたのに対して、2年次および3年次開講の教育実践探究演習A・Bは、それを発展させる形で、教員が遂行する職務の中でも重要な位置を占めている学習指導や生徒指導により焦点をあてます。教育実践探究演習は、3年次以降の教育実習に向けて、学問体系に基づいた学修と体験的な学修とを有機的に結び付けることで実践的指導力を磨き、さらに教職キャリアのステップアップを意識していくことをねらいとした授業科目です。

3年次教育実習

宮城教育大学の附属幼稚園・小学校・中学校において2週間の実習を行います(特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります)。講義や演習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を実習以降の学修に還元していきます。実習の時期は、6月上旬から9月中旬までの期間です。



4
年次

4年次教育実習

協力校(小学校または中学校)において3週間の実習を行います(芸術体育・生活系教育専攻および特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります)。講義や演習、3年次実習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を踏まえ学部での学びの集大成へと向かいます。時期はⅠ期が5月スタート、Ⅱ期が10月スタートで、Ⅰ期かⅡ期のどちらかで実習を行います。

教職実践演習

教職実践演習は、大学生活の中で教員としての資質能力が身についたのかどうかを学生自身が振り返る、「学びの軌跡の集大成」としての位置を持つとともに、キャリアステップアップ科目の総まとめとなる科目です。すなわち、学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その確かな定着を図ることにより、卒業後の教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。

学部・大学院接続プログラム

令和8年度入学者より、学部4年と大学院2年の接続プログラムを導入しています。学部3年次に選抜、特定科目の履修等を予定していますが、詳細は入学後に改めてご案内します。

1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)

「1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)」は、学部1年生が夏季休業中に東北地方における出身地域の公立小学校または中学校(主に母校)で1週間程度学校現場を体験する事業であり、本学独自の特徴的な取り組みの1つです。入学後早期に故郷の学校現場に触れることで、「教員になる」という意識と「出身地の教員を目指す」という意欲を高めることを目的としています。平成29年度に青森県と宮城県において開始し、現在は多くの教育委員会及び学校の協力と理解を得て東北全域で実施しており、近年学部1年生の8割以上が参加しています。また、東北地方以外出身の学生にとっては、宮城県及び仙台市の学校教育現場に触れることのできる貴重な機会となっています。

なお、この事業は地域関連科目「地域フィールドワーク研究(東北編/宮城編)」内で実施しています。特定地域の学校教育への理解を深めるといった理念に鑑み、総合型選抜の地域定着枠及び学校推薦型選抜の宮城県内定着枠で入学した学生には必修科目としています。



参加した学生の声

■ 宮城県(特別支援教育専攻)

沢山の貴重な体験をさせていただきとても充実した時間でした。また、学校体験に参加する前後で学修に対する姿勢や考える際の視点がより深いものに変っただけでなく、先生方の様子から今後の自分に必要な要素も見つけることができました。

■ 岩手県(初等教育専攻)

学校へ電話をかける時から不安でいっぱいでした。しかし、今となっては、学校体験の事前準備から終了後までにおける全てが、今後の自分にとってプラスになるものだったと感じています。自分を成長させる大きな第一歩になる経験です。

■ 福島県(初等教育専攻)

児童生徒として過ごした母校での学校体験を未熟ながら先生としての立場で経験して、小学校の先生になりたいという思いが強くなり、福島県の教員採用試験を受けたいと改めて考えるようになりました。

■ 青森県(中等教育専攻)

授業だけでなく学級活動やHRも見学させていただき充実した1週間でした。ぜひ先生として青森県に帰ってきてほしいとお声がけいただき、地元貢献しようという思いが強くなりました。

■ 秋田県(初等教育専攻)

校外学習の引率を経験させていただき、児童たちが充実した学校生活を送るために、先生が裏でたくさんの方を行っていたことが分かりました。自分の将来像が明確になりました。

■ 山形県(初等教育専攻)

学校教育の良い面をたくさん見ることができました。児童たちからも先生方からも励ましの言葉をいただき、先生になって山形に帰ってようと思いました。

■ 仙台市(芸術体育・生活系教育専攻)

1年生のうちに実際に学校現場を体験できる事は、とても貴重なことだと思いました。また、終日学校で過ごし児童・生徒たちと実際に関わることで、さらに教員になりたいという思いが強くなりました。

ボランティア活動

本学では、様々なボランティア活動に参加する学生の支援も行っています。特に学校でのボランティア活動は、参加した学生にとって教員としての目線を持って学校現場を体験できる貴重な機会となります。

令和7年度においては、延べ417人の学生が学校ボランティアに参加しました。

各教育委員会や幼・小・中・高・特別支援学校との連携により、ボランティアとして学校現場を体験できる機会を豊富に設けています。また、学校現場での経験が豊富な就職支援アドバイザー(ボランティア担当)に相談することで、自分に合うボランティア活動に参加することや、十分に準備をした上でボランティア活動に臨むことができます。また、ボランティア活動に参加した後の就職支援アドバイザー(ボランティア担当)による個別フォローアップ面談、学校ボランティア参加者や興味関心がある学生が集まって月に1回程度実施するボランティアディスカッションなど、ボランティア活動で得た経験をさらに深い学びにつなげる機会も充実しています。特にボランティアディスカッションは、学校での様々な経験を学生同士で共有したり、現職教員を招いて実際の教育現場の様子を聞いたりすることで、教師の役割や児童生徒の様子について考察し、教職における実践的な学びを得ることが出来る機会となっています。



ボランティアディスカッションの様子

令和7年度実績

主な活動内容

- 小・中学校における授業中の指導補助
- 中学校における部活動指導補助
- 特別支援学校におけるクラス運営補助
- 長期休業中の学習支援 など

主な派遣先

- 本学附属学校園
- 宮城県・仙台市の各公立小・中学校等
- 東北各県の公立小・中学校等
- 宮城県、栗原市、岩沼市、塩竈市、柴田町、大郷町、大和町各教育委員会主催事業 など

参加した学生の声

- ボランティア活動を通して、児童や現場の実態を経験することができた。特に、特別な配慮が必要な児童と関わったときには、自分が教員になったときにどのような対応ができるのか考える良いきっかけになった。
- 教育実習よりもより客観的に子どもたちや先生方の様子を見ることができて、とても勉強になった。

震災学習・学校防災の教育研修

本学は2019年度に防災教育研修機構を開設し、東日本大震災を起点にした防災教育の取り組みを推進しています。学生向けに震災に深く向き合う機会を提供する場として「311ゼミナール」を運営しているほか、全国の教職員を対象に学校被災の現場を視察して教訓を学び合う「311被災地視察研修」を開催し、自分のいのちと隣り合う人たちのいのちを守り合う防災教育の発信に努めています。

また、防災教育研修機構では、防災教育の指導力を身に付けた学生の修学状況を証明する制度として、「学校防災安全マイスター」の認定制度を設けています。「学校防災安全マイスター」は、宮城教育大学独自の制度で、防災教育研修機構の特徴的な取り組みの一つです。初級は「学校安全・防災教育の科目履修」「普通救命講習(対面またはWeb)」「被災地見学」「最終レポート」の4項目、上級は「防災に関する体験活動等の実践」「上級救命講習(Web)または応急手当講習(対面)」「防災教育の伝承・指導体験」の3項目を修得することで認定となります。2018年度(平成30年度)の本制度開始以降、150名を超える学生が認定されています。

東日本大震災の教訓を生かし、将来教員として子どもたちの命を守るために、学校防災安全マイスターの認定を目指してみませんか。



311ゼミナールの活動



311被災地視察研修の様子

震災学習・学校防災の教育研修
海外留学について

311ゼミ生からのメッセージ



小原 梨紗さん(4年)

将来、子どもたちの命を守る教員になりたいという想いから、311ゼミへの所属を決め、今年度で4年目を迎えます。ゼミでは、小学校での防災授業の実践や震災遺構の訪問など、他では得難い貴重な経験を積んできました。災害は、いつ・どこで起こるか分からず、決して他人事ではありません。あの震災の教訓を風化させず、子どもたちへ伝えていくことも教員の大切な役割だと感じています。一年後には教壇に立つ者としての自覚を持ち、さらに気を引き締めてゼミ活動に取り組んでいきます。



遊佐 将伍さん(3年)

311ゼミでは、さまざまな学習・経験ができます。児童に対する防災授業・イベントでは、児童の災害に対する認識を知ることができました。モンゴルへの訪問では、環境の視点から災害を考えることができ、英字新聞の論読では、世界の災害への見方を学ぶことができました。学生のうちから災害を学ぶことはとても良い経験になると思います。今後も311ゼミでの活動を通して、質の高い防災教育を行える教員になれるよう努力したいです。



福田 琴子さん(2年)

私は311ゼミに入るために宮城教育大学に入学し、この1年間で宮城県内の小・中学校での見学やワークショップの実施、南あわじ市での学習など311ゼミでしかできない経験をしました。これらの活動を通し、教員としてあるべき防災への向き合い方を学ぶことができました。学校防災教育を通じて、自分だけでなく周りの人の命も守れる子どもたちを増やしていけるように、「自分にできることは何か」を考えながらゼミの活動を続けていきたいです。

海外留学について

1 海外留学について

学生時代に海外で学ぶメリットは、留学先の国・大学で知識や語学力が得られるというだけではありません。その国の学生・教員だけでなく、世界中から集まる様々な文化的背景を持つ留学生たちとの異文化交流や異国の地で学業と生活を両立させていく胆力が求められ、国内での生活とは違った貴重な経験が得られることでしょう。宮城教育大学には、海外留学の経験を生かして第一線で活躍している先輩がたくさんいます。海外に留学することも大学生生活の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。



2 中・長期留学(交換留学)について

本学では、右記の大学と交流協定を締結しており、それぞれ若干名の本学学生を本学の推薦により交換留学生として派遣することが可能です。留学期間は半年または1年以内で、候補者となるためには本学の選考手続きを経ることが必要です。留学する学生は、「留学」または「休学」のどちらかを選択します。

国際交流協定校

- 1 東北師範大学
- 2 セントラル・クイーンズランド(CQ)大学
- 3 大邱教育大学校
- 4 ペルージャ外国人大学

- 中国 長春市
- オーストラリア ロックハンプトン
- 大韓民国 大邱市
- イタリア ペルージャ

- 5 中華大学
- 6 国立高雄大学
- 7 ダーラナ大学
- 8 ハワイ大学マノア校
- 9 デラウェア州立大学

- 台湾 新竹市
- 台湾 高雄市
- スウェーデン フアルン
- アメリカ ハワイ州
- アメリカ トーバー

3 短期留学について

春の長期休暇を利用して、オーストラリア、台湾で2週間程度研修を行うことができる授業(海外総合演習)があります。(※プログラムは、年度によって変更になる場合があります)

4 日本語パートナーズ派遣事業について

アジアの中学校や高校等で現地の日本語教師と学習者のパートナーとして、およそ1年間日本語教育を支援する事業に参加します。国際交流基金が主催するプログラムです。

5 自主留学について

本学の留学プログラムに基づかず、学生個人が手続きを行って大学・語学学校等へ長期留学する場合は、「休学」の許可を得て留学することになります。休学期間は在学期間に算入されません。

留学 Q & A

Q | 長期留学しても4年間で卒業できますか?

教員免許の取得に関する単位への互換は認められないことがほとんどです。そのため、留学をすると、卒業が1年遅くなります。海外総合演習のような短期研修の場合は、4年間で卒業することができます。

Q | 留学先でかかる費用はいくらぐらいですか?

交換留学の交流協定がある大学へ留学する場合は、授業料については基本的に免除または減免されます。授業料のほかに、生活費などが必要です。留学期間が9ヶ月程度の場合、アジアの大学では年間100万円程度、オーストラリアの大学は200万円程度は準備しておきましょう。また、文部科学省主催の「トビタテ!留学JAPAN」や海外留学支援制度(交換留学)などの奨学金に応募することができます。(年度によって変更になります)

Q | TOEFLやIELTSはいつ受ければいいですか?

交換留学の場合、留学希望年次または前年の夏休み～後期に選考を行うため、それまでに正式のスコアを提出することが必要になります。1回目の受験で目標点が取れるとは限らないので、1年次のうちから準備を始めておきましょう。

中・長期留学者からのメッセージ



中等教育専攻 言語・社会系教育コース(英語)

下屋敷 邦寛さん(留学時3年次)

留学先:セントラル・クイーンズランド(CQ)大学(オーストラリア)
留学期間:2024年7月~2024年10月

英語を学習するきっかけになつたオーストラリアに一度は訪れてみたいという思いで準備を進めてきました。資金面や見通しの難しさなど、準備段階から様々な困難がありました。実際に訪れて他の学生と肩を並べて大学で勉強する体験は大学生の間にしか味わえないものだと感じ、素晴らしい体験になりました。私が受けた授業はほとんどが教育系の科目で、生徒の心身の健康やインクルージョン教育について学びました。これらの授業から得た経験は私の考えを大きく変えた要因の一つで、みなさんも留学に行くことで考え方が変わったり、物事の捉え方を見直し、自分自身を大きく成長させることになると思います。留学を悩んでいる人は、今すぐに決断して行くことをオススメします。思いもよらない、驚きに満ちた体験があなたを待っていることと思います。あなたも日本を飛び出して冒険してみませんか?

キャリア形成支援・就職支援

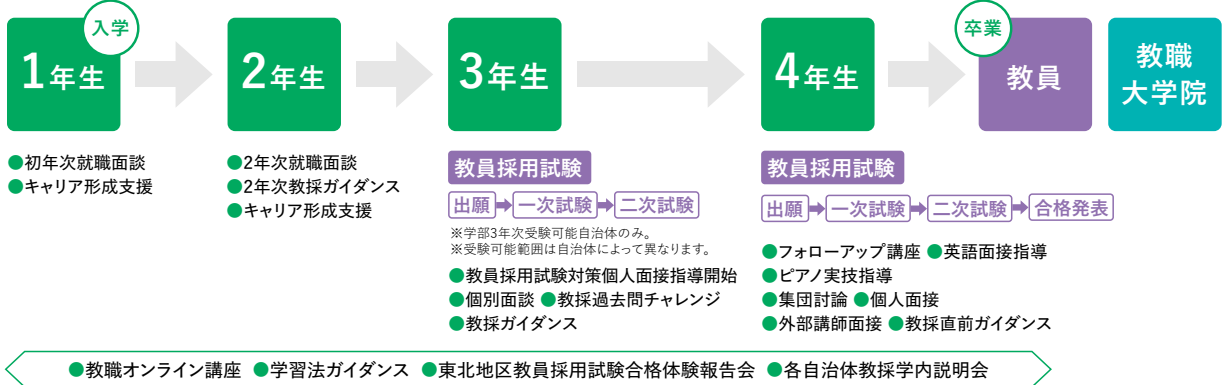
入学時から卒業まで、
一人一人の教員像の確立を支援します。

宮城教育大学は、教員養成に責任を負う大学として、生涯にわたり学び続ける優れた教員を養成します。教員として求められる資質能力を身につけて学校現場で活躍できるよう、次のような形で学生の皆さん一人一人に応じたキャリア形成を入学時から支援しています。



公立・私立学校の元校長、教員など、学校現場での経験が豊富なアドバイザーによるキャリアサポートを受けることができます。

■入学から卒業まで



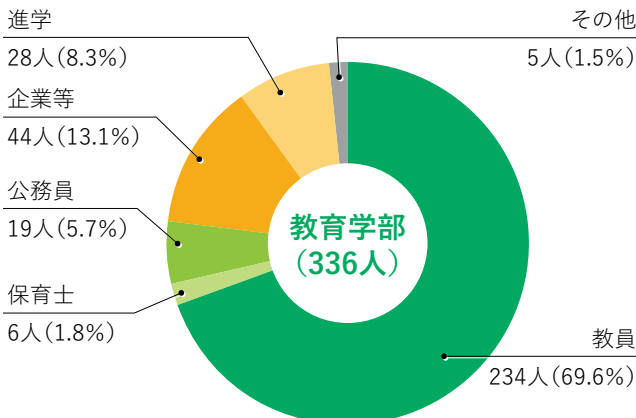
就職状況

■教員就職率 (保育士・進学者を除く)

令和6年 3月卒業 **75.3%** 令和7年 3月卒業 **79.4%** 令和8年 3月卒業 **77.5%**

■令和8年3月卒業生の就職状況 (R8.4.1現在)

令和8年3月卒業生336人の就職状況は、下図のとおりです。

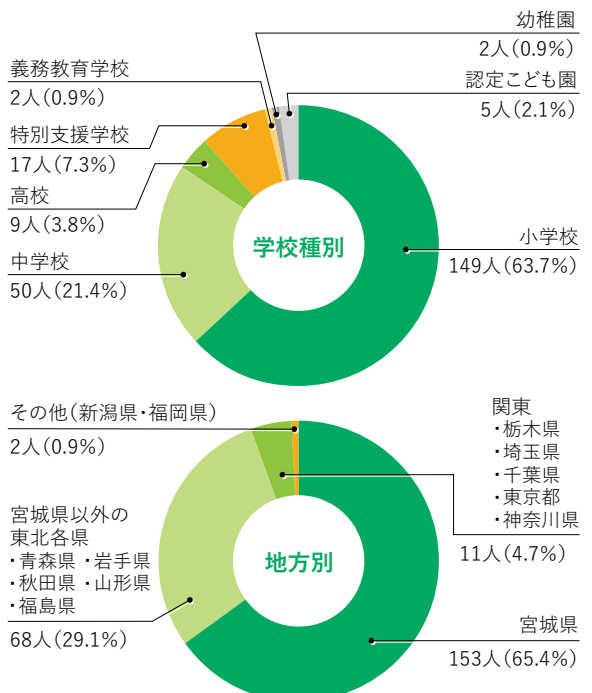


教員就職率
東北地区1位、
全国6位!

※令和7年3月学部卒業生対象
※全国44国立教員養成大学・
学部を対象とした数値

■教員への就職状況

(学部卒業生のうち、教員になった234人の内訳)



※グラフ内の割合については、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

卒業生からのメッセージ

MESSAGE 01

小学校教諭(福島県)

深谷 洸史郎さん

2025年3月 初等教育教員養成課程
数学コース卒業



皆さんは教員という仕事に興味がありますか?私は高校生の頃、はっきりと教員になりたいとは決めていませんでした。これまでの自分を振り返り、「友達に勉強を教えるのが好きだったなあ」という些細なきっかけから、宮教大への入学を決めました。

4年間の大学生活は、仲間との出会いに恵まれ、毎日が充実していました。宮教大は学生数が少ないからこそ、個性豊かな仲間たち一人一人とより深く関わることができます。大学生活の中で、いろいろな考え方や価値観をもつ仲間と関わることで、たくさんの刺激を受け、自分自身を見つめ直すことができるでしょう。自分の知らない世界に踏み込んでみることで、きっと新しい自分を見つめることができるでしょう。ただ漠然と教員を志望していた私にとって、大学での仲間との関わりやたくさんの経験は、今後の教員人生を彩る大きな財産となったと思います。

また、宮教大は、教育実習やボランティア活動等のサポートが充実しており、素敵な先生方や子どもたちとの出会いが待っています。教員採用試験についても、キャリアサポートセンターでの面接練習や模擬授業を積み重ねることで、安心して試験に臨むことができます。

4年間の大学生活の全てが、私にとってかけがえのない宝物です。皆さんも、宮教大でそんな宝物を見つけてみてください。

MESSAGE 02

中学校教諭(宮城県)

鎌田 知希さん

2025年3月 中等教育教員養成課程
社会科教育専攻卒業



「この大学で学べたことが間違いなく自分の財産になった」というのが4年間での一番の思いです。宮教大は「教師になりたい!」を全力で叶えられる大学だと思います。「教育」について深めるための環境が全て揃っているからです。小規模な大学のため、友人や教員と深く関わり合いながら大学生活を送れること。教職経験豊富な先生方から授業を受けたり、採用試験のサポートをいただけること。様々な学校との連携があり、実際の教育現場に触れる機会が充実していることなど、ここに書ききれない程に魅力に溢れています。実際私は高校生のとき、宮教大に進路を決めたのは入試のかなり直前でした。そのため、教員になりたいという思いはありつつも、この大学で4年間やっつけていけるか不安だったのを覚えています。ところが、有難いことに親しい友人にも恵まれ、教育実習や授業が楽しくて仕方なく、教職への思いを増しながらあつという間に4年間を駆け抜けることができました。是非皆さんにも、この充実した環境のもとで志を叶えてほしいと思います。また、宮教大の良いところとしてもう一つ。それは「教育」に限らず、幅広く充実した経験も積めることです。研究活動、フィールドワーク、学外でのボランティアなど「自分自身」を成長させられる経験が多くあります。教師としても、学生としても、人としても多く成長できる4年間を宮教大で送ってほしいと思います。応援しています!

MESSAGE 03

小学校教諭(宮城県(石巻市))

上野 有里さん

2026年3月 初等教育専攻
未来づくり教育創生コース卒業



「同じ志を持つ仲間たちと切磋琢磨し、共に学べること」が、宮教大の最大の魅力です。私は「地域定着枠(宮城県内定着枠)」として入学し、将来は大好きな地元の子どものために働きたいという目標を持って4年間を過ごしてきました。同じように地元への熱い思いを持つ仲間と出会い、励まし合えたことは何よりの支えとなりました。

特に印象深いのは、3年次の附属小学校での教育実習です。仲間たちと「子どもがわくわくする発問」や「楽しく主体的な学習」について熱心に議論を交わしました。実際の現場で試行錯誤しながら子どもたちと深く関わる中で、自分が地元で実現したい理想の「先生像」を具体的に描くことができました。

この実習を通し、子どもの成長を間近で感じ、その喜びを仲間と分かち合える教員という仕事の素晴らしさに改めて気づきました。子どもを支えるだけでなく、自分自身も周囲と共に成長し続けられる、そんな職業の奥深さに触れた4年間でした。

また、宮教大はボランティア支援が手厚く、学外での経験も自分を大きく成長させてくれます。教員採用試験でも、キャリアサポートセンターの指導のおかげで、夢に向かって迷わず努力し続けることができました。春からはこの学び舎で得た宝物を胸に、地元の教育に返返しができるよう精一杯励みます。皆さんもこの温かい環境で素晴らしい仲間と出会い、自分だけの目標を見つけてください。心から応援しています!

MESSAGE 04

特別支援学校教諭(岩手県)

熊谷 里桜さん

2026年3月 特別支援教育専攻
聴覚・言語障害教育コース卒業



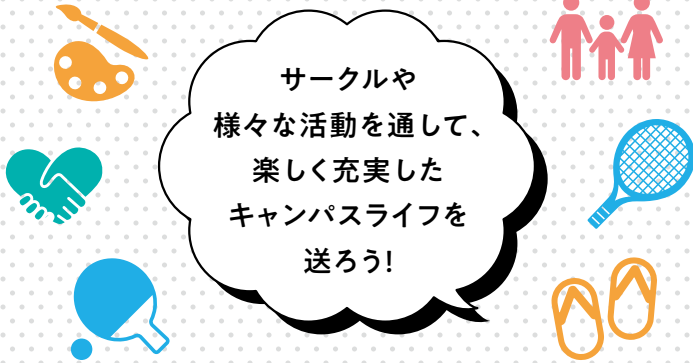
私は「学校の先生になる」という夢をもって、宮教大に入学しました。宮教大は、学校教員になりたい人にとってこれ以上ない大学です。私がこの大学に入学して、何よりも良かったことは、同じ志を持つ仲間とともに学べた環境です。宮教大にいるすべての人が「教育」に対する高い志を抱いています。そんな環境だからこそ、大学の継続的なサポートを受けつつ、勉強のモチベーションを保ち、教育実習や教員採用試験に臨むことが出来ました。

4年間、教員になることを常に意識できる環境だったからこそ、「どんな経験しておくべきか」「どんな大人になりたいか」を考えながら、大学内外でのボランティアや趣味にも積極的に挑戦することが出来ました。特に、私は大学に入るまで特別支援教育に関わる機会がない中で、特別支援学校教員を目指していたため、大学からのボランティアの紹介がとてもありがたかったです。ボランティアや教育実習での子どもたちとのすてきな出会いが、教員となる私の背中を押してくれています。

最後になりますが、大学は自分で選び、自分でどう学ぶかを決めていく場所だと思います。何を学ぶかも、どのくらい学ぶかも自分次第だからこそ、流されてしまうと時間だけが過ぎていく4年間になってしまうかもしれません。だからこそ、なりたい自分に向かって一歩踏み出してほしいです。本学にはその挑戦を支えてくれる環境があります。少しでも興味があれば、ぜひ気軽に挑戦してみてください。

Campus Life

キャンパスライフ



サークル活動

保田 結希さん

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
言語・社会系教育コース(社会)／3年
(神奈川県立海老名高等学校卒業)



民族芸能研究会
びっさい

びっさいは、主に東北地方に伝わる太鼓や踊りの練習をしているサークルです。青森県、岩手県、石巻市などいろいろな場所のお祭りにも参加しています。卒業生、現地の方などたくさんの人と交流できることも魅力の一つです！



2025年度のミニ公演



サークル活動

笠間 康太さん

学校教育教員養成課程
初等教育専攻
未来づくり教育創生コース／4年
(福島県立磐城高等学校卒業)



卓球部

私たち卓球部は春、秋の学生リーグ戦や定期交流戦などの大会に加え、新歓や芋煮会などのイベントも全力で楽しめる部活で、和気あいあいとした雰囲気練習しています。バイトやサークルとの掛け持ちも大歓迎です。一緒に大学生生活楽しみましょう！



2024年度の集合写真(追いコン)



サークル活動

菅原 優菜さん

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
聴覚・言語障害教育コース／2年
(尚綱学院高等学校卒業)



mochi

「子どもとかかわる体験」を通して理想的な教師像を構築することを目標に活動しています。学生のやりたい！をイベントで形にすることで新たな刺激を得ることができると思います。mochiだからこそできる体験と一緒にしましょう！



冬の一大イベント「みやきょ〜すくる」後の様子

サークル一覧

スポーツ系

- 弓道部
- 硬式庭球部
- 女子ハンドボール部
- Prairie shuttle
- 剣道部
- ソフトテニス部
- 硬式野球部
- 水遊びサークル
- 男子サッカー部
- 男子バスケットボール部
- 軟式野球部
- ダーツサークル
- 水泳部
- 女子バスケットボール部
- 陸上競技部
- 男女混合
- 男子ソフトボール部
- ダンス部
- バレーボールサークルRISE
- 女子ソフトボール部
- サッカー同好会
- 体操部
- バドミントン部
- バスケットボールサークル
- 卓球部
- 男子ハンドボール部
- CONNECTION Crew



サークル活動

氏家 義浩さん

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
理数系教育コース(数学)/4年
(仙台育英学園高等学校卒業)



硬式庭球部

私たち硬式庭球部は、日頃からみんなで教え合ったり、自分たちで練習内容を考えながら男女一緒に楽しく活動を行っています。練習以外にもスポーツ大会やBBQなどの楽しめるイベントもしています。少しでも興味がある人は、ぜひ私たちと一緒に思い出を作りましょう!



ある日の練習風景



サークル活動

長内 ののかさん

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
理数系教育コース(数学)/4年
(青森県立青森高等学校卒業)



美術サークル

美術サークルは他の専攻の人たちとの交流ができるだけでなく、様々なジャンルでの作品制作を通じて自らの表現の幅をより豊かにできることが最大の魅力です! 私たちと共に表現の幅を広げ、充実した大学生活にしてみませんか?



昨年行われた文化祭での展示の様子



サークル活動

青木 結郁さん

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
健康・運動障害教育コース/4年
(福島県立橘高等学校卒業)



カンガルー体操クラブ

私たちは発達障害のあるお子さんの余暇支援として、学生が考えた活動で月に1回お子さんとそのご兄弟と一緒に遊んでいます! 子どもたちと楽しく過ごすことができれば大丈夫です。私たちと一緒に楽しい企画を通して子どもたちと関わってみませんか?



ある月の活動の様子。大学内をみんなで探検しました!



学生自治会活動

阿部 航大さん

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
言語・社会系教育コース(国語)/4年
(聖和学園高等学校卒業)



宮城教育大学
学生自治会

私たちは、宮教生の生活の支えになれるように活動をしています。例年4月初めには、宮城教育大学生協学生委員会さんと協力し、「学生オリエンテーション」という企画を開催しています。この宮教でかけがえのない大学生活を過ごしましょう!



新入生向けオリエンテーション行事

文化系

- 演劇部
- 混声合唱団
- 天文同好会
- 吹奏楽部
- フォークソング研究会
- マンドリン部
- 民族芸能研究会びっきい
- 美術サークル

- 自然フィールドワーク研究会 YAMOI
- アカペラサークル奏
- 交響楽団
- Science Support SPINOZA
- 授業技術研究会
- 放送サークル
- 教材研究サークル MICS

- 芸術鑑賞・文化体験サークル BunBun
- 短歌会「湧雲」

ボランティア系

- 入院児の教育を考える会ありんこ
- EST
- 手話サークルHANDS
- カンガルー体操クラブ
- mochi 🍡

Student

Life

スチューデント ライフ



詳細は
ホームページを
ご覧ください。



学生の生活を
ご紹介します。

自分に合う生活スタイルを
見つけて
充実した生活を!

ユニット内の
オープンリビングキッチン。
料理、食事、ユニット内での
交流ができます。

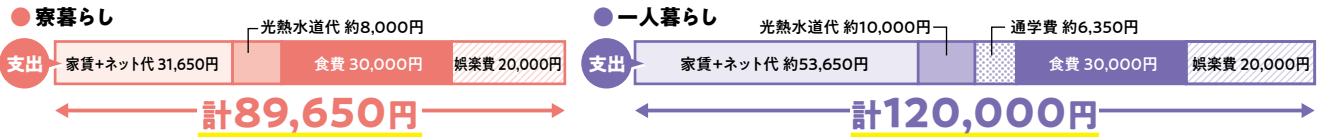
学生寮について

男子寮・女子寮が廃止され、
令和6年度からキャンパス内に
学生寮が設置されました。



生活費について

あくまで一例ですが…約30,000円/月の差になります!!



寮暮らし



結城 来望さん

ある日の私

芸術体育・生活系教育専攻
音楽コース/2年
(山形県立米沢興譲館高等学校
卒業)

- [サークル] 宮教大教育大学交響楽団
- [アルバイト] ドラッグストア
- [取得予定免許] 中学校音楽1種 / 中学校国語1種 / 幼稚園教諭1種

宮教大の魅力 /

とにかくたくさんの学生が教員を志していることが魅力です。同じ目標を持った仲間と学ぶことができ、大学のサポートも手厚いです。

コース・専攻の魅力 /

音楽科は1学年数人程度で構成されていて、縦と横のつながりが強いです。自分の技術を専門の先生のもとで磨くことができます!

寮暮らしのメリット /

他専攻の友達や先輩と交流できることです。家に帰るといつも話を聞いてくれる友達がいる、困ったときは助けられるとても心強い味方ができました!

休日の過ごし方 /

アルバイトをしたり、楽器を練習したり、ショッピングをしたりします。仙台は色んなお店があって楽しいです!



よく5号館で友達と食べます。
とてもおいしいお弁当が
買えます。

自炊頑張っています。
たまに誕生日会や
パーティーを企画して
みんなでご飯を食べます!

寮に戻って
課題や家事をしたり、
音楽棟で楽器の練習を
しています。



大学に隣接
している寮なので
朝が苦手でも
安心!

自分の興味のある
授業が受けられて
とても興味深いです。



週に3回、オーケストラで
オーボエを吹いています。
子ども向けの演奏会など
宮教大だからこそできる
活動にも参加できます!

受験生のみならず! 宮教大は「教員になりたい」「将来子どもに関わる仕事がしたい」という皆さんに打ってつけの大学です! 豊富な実習の機会だけでなく、同じ夢を目指す仲間や先輩方と過ごす日々はとても刺激的です。ぜひ私たちと一緒に宮教大で夢をかなえませんか?



実家暮らし



仙石 航太郎さん **ある日の私**

中等教育専攻
理数系教育コース数学/4年
(宮城県宮城野高等学校卒業)

- [サークル] 軟式野球部
- [アルバイト] 塾講師/飲食業
- [取得予定免許] 中学校教諭1種(数学)/高等学校教諭1種(数学)



宮教大の魅力 /
教育に特化した大学で、指導やキャリアサポートはもちろん、同じ志を持つ友人と切磋琢磨しあえる環境があります。

実家暮らし /
食に困りません! お金がたまります! 自分のためにたくさんの時間とお金を使うことができます!

コース・専攻の魅力 /
教科教育の方法だけでなく、その教科に関する学びも得ることができるので、教員としての力を多面的に伸ばしていくことができます。

休日の過ごし方 /
部活! 部活! 部活! バイト! バイト! バイト!

置いていかれないように必死です。板書計画などやることたくさん!

教員を目指している人が多く集まるからこそ、生徒や教授も含めた人との距離が近く、様々なことに挑戦できるところが宮教大の魅力です! 多くの人と関わって、たくさんのことに挑戦して、長いようで短い4年という時間を自然に囲まれたこの宮城教育大学で過ごしてみませんか?



一人暮らし



渡邊 桐子さん **ある日の私**

初等教育専攻
未来づくり教育創生コース/4年
(秋田県立秋田南高等学校卒業)

- [サークル] 宮城教育大学大学祭実行委員会
- [アルバイト] 居酒屋
- [取得予定免許] 小学校1種/学校図書館司書教諭



宮教大の魅力 /
授業内の模擬授業や学校現場でのインターンなど、教職について具体的に考えられる機会が多いところが大きな魅力だと思います。

一人暮らし /
自由に友達を家に呼んで遊べるのが楽しいところです! また、家事やお金の管理などを自分で行うことで自立にもつながると思います。

コース・専攻の魅力 /
初等教育専攻は他専攻に比べて、よりさまざまな夢や目標を持った人に出会い、自分の考えや価値観を広げられると感じています。

休日の過ごし方 /
課題を消化し、夕方からバイトに行くことが多いです。友達とご飯を食べたりバンドのライブに行ったりすることもあります!

大学生活は、4年という限られた時間の中でどれだけ自ら挑戦し動いていくかで充実度が大きく変わると思います。たくさんの人との出会いや様々な経験を通して、自分の成長を実感できる4年間で、仙台で、そして宮教大でともに過ごしませんか?



入試制度

1 総合型選抜

45名 [芸術体育・生活系教育専攻のみ で実施します。]

中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭のいずれかの教員免許に加え、小学校(1種)または中学校(1種)の教員免許状(国語、英語、数学のいずれか1つ)、もしくは高等学校1種(情報)の教員免許状(生活系教育コース技術のみ)を取得することを卒業要件とします。

募集単位	地域定着枠 8名	一般枠 37名
出願資格	令和9年3月に高等学校(特別支援学校高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または卒業した者(既卒者)とします。	
出願要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が3.5以上であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 卒業後は、宮城県以外の地域において教職に就くことを強く希望する者であること 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が3.5以上であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 令和9年度の大学入学共通テストを受験する者であること
選抜方法	芸術体育・生活系教育専攻の総合型選抜においては、各コースとも教科単位で実施しますので、出願時に受験する教科を指定して出願書類を提出することになります。 入学者選抜は、第1次選考、第2次選考を実施します。 第1次選考は、志願者が多い場合に実施し、出願書類により審査します。 第1次選考で合格した者に、第2次選考を行います。第2次選考は各コース以下のとおりです。 ○芸術・体育系教育コース 個人面接、実技 ○生活系教育コース 個人面接 第2次選考の個人面接は、受験者が事前に準備した資料を基にプレゼンテーション等を行い、個人面接を実施します。 ※<一般枠>選抜においては、第2次選考で合格した者には、大学入学共通テストを課します	
合否判定の方法	第2次選考での合格をもって最終的な合格とします。地域定着枠で志願した者が不合格だった場合、一般枠での合否判定に含めて、再度合否判定を行います。	第2次選考の合格者には、大学入学共通テストを課し、 475点以上であれば合格!

※総合型選抜においては、コース内の教科単位で選考を実施します

※地域定着枠による入学者は、原則として「1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)」に参加していただきます。(詳細はP17参照)

2 学校推薦型選抜

56名 [初等教育専攻、特別支援教育専攻 で実施します。]

募集単位	宮城県内定着枠 10名	一般枠 46名
推薦要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が4.0以上の卒業見込みの者であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること 5 卒業後は、宮城県内の特定の地域*において教職に就くことを強く希望する者であること <p>※他県の高校に在学中であるが、本学を卒業した後、宮城県内の特定の地域で小学校教員として就職することを強く希望する場合も対象となります</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員になろうとする強い意志を持つ者であること 2 高等学校等調査書の全体の学習成績の状況(全体の評定平均値)が4.0以上の卒業見込みの者であること 3 本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること 4 合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること
選抜方法	初等教育専攻のみ で募集します。 一般枠選抜同様、専攻別課題、集団面接、個人面接を課します。 専攻別課題では、課題の理解力、内容展開力、思考力、文章表現力を評価します。 集団面接では、課題の理解力、内容展開力、思考力、協調性を評価します。 個人面接では、宮城県内の特定の地域*で小学校教員になろうとする意志、質問の理解力、自己表現力、具体性、適性を評価します。出願時に提出する学校推薦型選抜レポートを参考資料として利用します。	初等教育専攻、特別支援教育専攻で実施します。 専攻別課題、集団面接、個人面接を課します。 専攻別課題では、課題の理解力、内容展開力、思考力、文章表現力を評価します。 集団面接では、課題の理解力、内容展開力、思考力、協調性を評価します。 個人面接では、教員になろうとする意志、質問の理解力、自己表現力、具体性、適性を評価します。出願時に提出する学校推薦型選抜レポートを参考資料として利用します。

※特定の地域…大崎市、栗原市、加美町、色麻町、涌谷町、美里町、石巻市、登米市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町

※宮城県内定着枠による入学者は、原則として「1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)」に参加していただきます。(詳細はP17参照)

地域枠入学者〔総合型選抜(地域定着枠)〕からのメッセージ



地域に根差した教育実践を目指して

私が地域定着枠を選んだのは、地元である山形で生徒一人ひとりの個性を引き出し、尊重する心を育てられる教員になりたいと強く志していたためです。加えて、教員を志す仲間との出会いや地域に根差した教育を学ぶ機会が多くある点も魅力に感じました。入学してからは、他地域の情報と教育を知れたことや教員になるためのサポートの充実さに地域定着枠を選んで良かったと感じています。地元の魅力を再発見しながら教育について考え、自分の目指す教員像と一緒に描いてみませんか?

芸術体育・生活系教育専攻 芸術・体育系教育コース 美術 / 4年

小林千鶴さん

(山形県立酒田東高等学校卒業)

3 一般選抜 244名

前期日程
203名

初等教育専攻、中等教育専攻、特別支援教育専攻で実施します。大学入学共通テストを課し、個別学力検査等の試験科目として、「国語」及び「教育小論文」を全員に課し、併せて、文系型の受験生には「英語」を、理系型の受験生には「数学」を課します。「教育小論文」は、教育を論ずることで、思考力・判断力・表現力を測り、教育養成大学で学ぶ上で必要な教員志向性を評価します。

※中等教育専攻においてはコース内の教科単位で選考を実施します

後期日程
41名

初等教育専攻のみで実施します。大学入学共通テストを課し、個別学力検査等の試験科目として「個人面接」を課します。「個人面接」では、出願書類として提出する「教員志望理由書」と合わせ、教員志向性を確認するとともに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

4 まとめ

令和9年度入試(令和8年度実施)における募集人員、選考方法は以下のとおりです。

学校教育教員養成課程(345名)

専攻	コース等	総合型選抜 45名		学校推薦型選抜 56名		一般選抜 244名		
		地域定着枠 8名	一般枠 37名	宮城県内 定着枠 10名	一般枠 46名	前期日程 203名	後期日程 41名	
初等教育専攻 210名	幼年期教育創生コース			10名	38名	[文系型] 85名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 英語	[理系型] 36名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 数学	[文系型] [理系型] 大学入学 共通テスト 教員志望 理由書 個人面接
	未来づくり教育創生コース			専攻別課題 集団面接 個人面接 学校推薦型 選抜レポート				
	人文・社会系教育創生コース							
	理数・自然系教育創生コース							
中等教育専攻 60名	言語・社会系教育コース 国語 9名 社会 8名 英語 8名					[文系型] 大学入学共通テスト 教育小論文 国語 英語		
	理数系教育コース 数学 18名 理科 17名					[理系型] 大学入学共通テスト 教育小論文 国語 数学		
教育専攻 生活系・ 芸術体育 45名 ()は、 一般枠の 目安	芸術・体育系教育コース 音楽 (7名) 美術 (5名) 保健体育 (11名)	個人面接 実技 総合型選抜 レポート	個人面接 実技 総合型選抜 レポート					
	生活系教育コース 技術 (9名) 家庭科 (5名)	個人面接 総合型選抜 レポート	個人面接 総合型選抜 レポート					
特別支援 教育専攻 30名	視覚障害教育コース				8名	[文系型] 11名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 英語	[理系型] 11名 大学入学 共通テスト 教育小論文 国語 数学	
	聴覚・言語障害教育コース				専攻別課題 集団面接 個人面接 学校推薦型 選抜レポート			
	知的・発達障害教育コース							
	肢体不自由・病弱教育コース							

注) 変更する場合がありますので各選抜にかかる学生募集要項を必ず確認してください。

入試情報

令和8年度 入学者選抜実施状況

一般選抜

専攻	選考区分	前期日程						後期日程						合計	
		人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者	人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者
初等教育	文系型	85	191	2.2	183	101	96	41	455	11.1	146	52	48	162	183
	理系型	36	76	2.1	72	42	39								
	小計	121	267	2.2	255	143	135								
中等教育	国語	9	15	1.7	15	13	13							25	13
	社会	8	20	2.5	18	12	12								
	英語	8	14	1.8	13	12	11								
	数学	18	20	1.1	20	12	12								
	理科	17	18	1.1	17	11	10								
	小計	60	87	1.5	83	60	58								
特別支援教育	文系型	11	34	3.1	32	14	14							11	14
	理系型	11	34	3.1	32	14	14								
	小計	22	68	3.1	64	28	28								
合計		203	422	2.1	402	231	221	41	455	11.1	146	52	48	244	269

総合型選抜

専攻	選考区分	地域定着枠						一般枠												
		人員募集	志願者	倍率	志願者	合格者	1次選考	2次選考	合格者	入学者	人員募集	志願者	倍率	志願者	合格者	1次選考	2次選考	合格者	最終	入学者
芸術体育・生活系教育	音楽	8	10	6.3			10	1	1	7	12	1.7					12	12	8	8
	美術		7				7	3	5	2	0.4	2					5	2	2	
	保健体育		26				26	3	11	20	1.8	20					20	8	8	
	技術		1				1	1	9	6	0.7	6					6	2	2	
	家庭科		6				6	0	5	8	1.6	8					8	4	4	
合計		8	50	6.3		50	8	8	37	48	1.3		48	51	24	24				

※一般枠2次選考合格者には、地域定着枠不合格者でスライド希望者を含む。

学校推薦型選抜

専攻	選考区分	人員募集	志願者	倍率	志願者	受験者	合格者	入学者
初等教育	県内定着枠	10	14	1.4	14	10	10	10
	一般枠	38	104	2.7	103	39	39	39
	小計	48	118	2.5	117	49	49	
特別支援教育	一般枠	8	22	2.8	22	9	9	
合計		56	140	2.5	139	58	58	

入学者の地域別人数

出身地	人数	出身地	人数
北海道	6	中国	0
東北	320	四国	0
関東	24	九州・沖縄	0
中部	7	高卒程度認定	1
近畿	1	合計	359

東北の県別分類

出身地	人数
青森県	28
岩手県	21
宮城県	191
秋田県	20
山形県	23
福島県	37
合計	320

選抜実施状況総表

専攻	入試区分	募集人員	入学者
初等教育	学校推薦型選抜	48	49
	一般選抜(前期)	121	135
	一般選抜(後期)	41	48
小計		210	232
中等教育	一般選抜(前期)	60	58
芸術体育・生活系教育	総合型選抜	45	32
特別支援教育	学校推薦型選抜	8	9
	一般選抜(前期)	22	28
小計		30	37
合計		345	359

入試に関する
問い合わせ先

宮城教育大学入試課
入試実施係

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地

[tel] 022-214-3334

<https://www.miyakyo-u.ac.jp>

[e-mail]

nyushi@grp.miyakyo-u.ac.jp

資料請求は
こちらから▶



学費・奨学金

■ 納入経費

大学納付金

入学科 282,000円

授業料 535,800円(年額)

在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。なお、上記納付金額は予定額です。

その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料
3,300円(保険期間4年)

学研災付帯賠償責任保険料
1,360円(保険期間4年)

■ 学費の減免

選考により、次の制度の適用を受けることができます。

1 入学料の免除または一部が減額される制度、
徴収が猶予される制度

2 授業料の免除または一部が減額される制度、
月割分納及び徴収が猶予される制度

- 令和2年4月から高等教育段階の修学支援新制度が始まりました。新制度により、下記日本学生支援機構給付奨学生となる学生は、支援区分に応じて入学料及び授業料が減免になります。
- 令和2年度以降に入学した学部学生で、上記新制度の対象外とされ、教員になろうとする意志が強く、成績が特に優秀であり、経済的困窮度が高い学生に対して、本学独自の授業料の一部減額も実施します。

■ 奨学制度

- 日本学生支援機構、地方公共団体、その他の奨学財団からの各種奨学制度があります。
- 日本学生支援機構の奨学金は、優れた学生であって経済的理由により修学に困難がある者に対して貸与又は給付されます。
- 日本学生支援機構の奨学金には、無利子の「第一種奨学金」と利子付きの「第二種奨学金」、返還義務のない「給付奨学金」の3種類があります。
- 「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」は貸与が終了した月の翌月から数えて7か月目の月から返還が始まります。

■ 奨学金の種類及び貸与・給付月額

奨学金の種類	貸与・給付月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種奨学金	2万円、3万円、4万5千円 ^{※1} から選択	2万円、3万円、4万円、5万1千円 ^{※1} から選択	無利子
第二種奨学金	2万円から12万円のうちから1万円単位で選択		有利子
入学時特別増額貸与奨学金(一時金)	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択		有利子
給付奨学金	29,200円、19,500円、9,800円、7,300円のいずれか ^{※2}	66,700円、44,500円、22,300円、16,700円のいずれか ^{※2}	

※1 申込時の家計収入が一定額以上の方は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

※2 世帯の所得金額に基づき、給付額が異なります。

※ 詳細は日本学生支援機構ホームページでご確認ください。

宮城教育大学教職大学院

プラス2年の学修で更なる高みへ

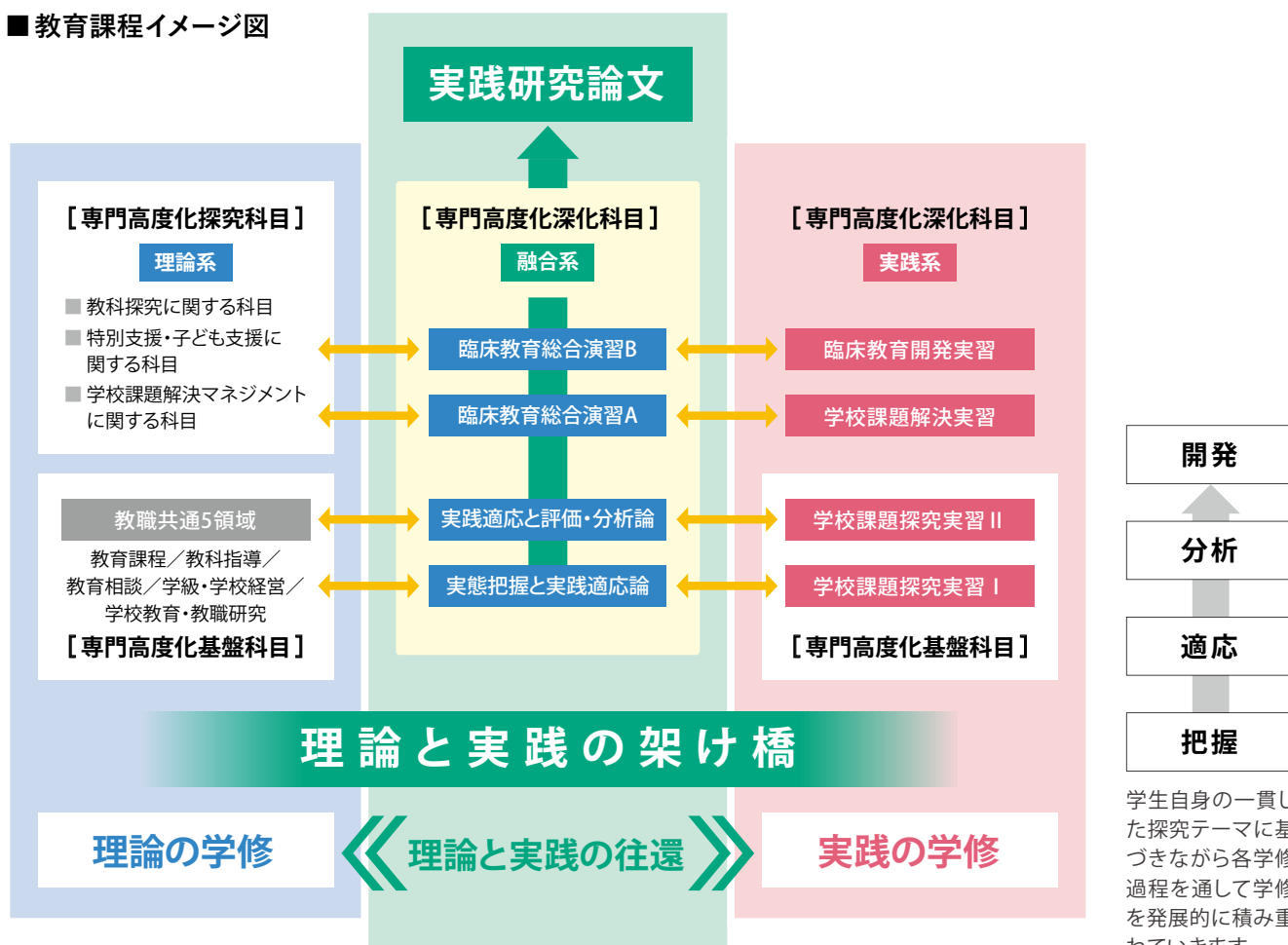
令和3年度より、宮城教育大学大学院教育学研究科は、これまでの修士課程における高度専門職業人としての教員養成機能を専門職学位課程（教職大学院）に一本化し、教職大学院における教科領域の教育に関する学修を拡充して「理論と実践の往還」を真に実質化して、高度専門職業人としての教師を育成するための改組を行いました。

ストレートマスター学生（学部卒業生）だけでなく、現職教員学生が共に切磋琢磨しながら、更に自身を磨き、現在の学校現場に求められる資質・能力をより高める理想的な環境です。

高度専門職業人としての教師の専門性の深化（高度化）の実現

- 院生それぞれが、一貫した探究テーマを設定
- 「理論と実践の往還」を基本とする「把握」、「適応」、「分析」、「開発」の段階的学修

■ 教育課程イメージ図



学生自身の一貫した探究テーマに基づきながら各学修過程を通して学修を発展的に積み重ねていきます。

より高度な専門性と教育の発展に貢献できる人材を育む

魅力溢れる多彩なプログラム

教科探究プログラム

各教科の背景となる学問知識を踏まえて「教科内容学」の研究方法を習得し、高度な教材研究力と教材開発力を身につけるとともに、子どもの認識や発達の実態に即して、授業を不断に改善していくことのできる教科指導力を高めることを目的とします。

特別支援・子ども支援プログラム

変化が激しい社会で学習や発達に困難を抱える子どもに対応するために、特別な教育ニーズのある子どものケーススタディによる発達・学習支援法の開発を行う力や、ICTを駆使した教育を開発しながら子どもを支援していく力を身につけるために、子ども理解・支援に関する実践的な資質能力を養うことを目的とします。

学校課題解決マネジメントプログラム(現職教員学生)

学校という組織をマネジメントしていく「学校を支える力」として、地域の教育ニーズを踏まえつつ学校が直面している課題を発見し、教職員間で共有し、協働して解決できるマネジメント力を身につけるため、学校や地域の抱える教育課題について具体的に探究していきます。

※専門高度化探究科目において、多様な選択科目の中から各履修プログラムの特色に応じた授業科目を選択

主体的・対話的で 深い学びを促進する学習環境

学生と教員を結びつける共用スペースや、教室を模した授業開発スペースなど、学生の学び合い、力を高め合う環境を整備。



在学院生からのメッセージ



教職大学院の 魅力

宮城教育大学 出身
教職大学院2年(ストレートマスター学生)

日下 輝 さん

私が進学を決めたのは学部4年の実習後の10月です。私は3年次実習での失敗から教員以外の道を目指していましたが、実習を終えて生徒と関わることの楽しさを実感し、教員になりたいと改めて思うようになりました。しかし、実習では教科指導や生徒理解などについての自身の未熟さも痛感しました。今の自分では教員としての責任を果たすことができないと考え、自信をもって教壇に立ちたいと思い、進学を決めました。

実際に教職大学院で学んで感じた魅力として第一に挙げられるのは、理論と実践の往還です。講義では、専門教科のことだけでなく、学校で広く役に立つ学びを得られます。講義で得た知見を実践で生かすことで、さらに新たな事実を発見するという往還が行われます。このような理論と実践の往還によって、子どもの実際に即した生きた学びを得られるのが教職大学院の特徴です。

第二に現職教員と同じ場で学ぶことができるということです。講義では、現職教員の皆さんから現場の実際や、現場のことを踏まえた意見など様々なことを学ばせていただきました。講義外でも勉強会を行ったり、悩んでいることについて相談させていただいたり大変お世話になりました。このような機会はなかなか得られないものですので、教職大学院ならではの魅力だと思います。

先生方のサポートも厚く、学生も意欲のある人ばかりなので、新しいことに挑戦することのできる場です。自分を更に高めたいという方は進学を検討してみてもいいのではないでしょうか。

修了生からのメッセージ



教職大学院での 学びを通じた成長

令和7年度修了生(ストレートマスター)
川崎町立川崎中学校 教諭

石田 愛乃 さん

私は学部時代に国語科教育について学び、学部4年次には小学校と中学校で実習を行いました。大学では、これらの専門の授業や教育実習などを通して、教科の専門性や指導力が強く求められていることを実感しました。そのため、大学院で他大出身の学生や現職教員と共に学び、現場で実習を重ねることで実践力を身に付けたいと考えようになりました。また、地元である宮城県の教員を目指すにあたり、宮城県で教員として働く両親が学んだ宮城教育大学の大学院で研究を行いたいと考え、教職大学院への進学を決めました。

教職大学院では多くの指導教員から様々なことを学びながら、自分の研究テーマを批判的な視点で再確認し、大学以上の高度な学びにつなげることができています。教職大学院の実習では、年間を通して子どもの観察を行います。この過程で、「子どもの学習・発達のニーズは何か」「そのために必要な指導は何か」を実践的に探究します。実習での観察で得られた知見や直面した課題については、先生方や学生同士で議論を重ねることで、教員として不可欠な視点や指導観を養うことができます。このような教職大学院ならではの理論と実践の往還を通して、自分の教育観を省察し、指導力の向上を実感できるのが教職大学院の魅力であると感じています。

みなさんが有意義な大学院生活を送られますよう、心から願っております。

CAMPUS

キャンパスマップ

MAP

青葉山地区
Aobayama Area

一目でわかる！
これが私たちの
キャンパス！



1階と2階に
共同利用スペースがあり、
学修やリラックス空間として
多くの学生さんが活用
しています。

01 1号館



共同利用スペースの様子

02 2号館 (講義棟)

(入試課、教務課、学生課、共創支援課、
研究支援・多文化共生推進課、アドミッションオフィス)

■ キャリアサポートセンター (1F)



03 3号館

■ しょうがい学生支援室 (3F)

04 4号館

05 5号館

■ スペース あおば



■ 内田洋行 フューチャークラスルーム・ラボ



25

窯芸実習室

囲場

08

08

30

30



06 6号館

■ 上廣倫理教育アカデミー



07 7号館

08 8号館

09 9号館

10 10号館

■ 学生相談室 (1F)

21

24

19

11

14

09

13

01

10

27

12

31

22

23

19

11

14

09

27

12

01

10

27

12

31

01

10

27

12

31

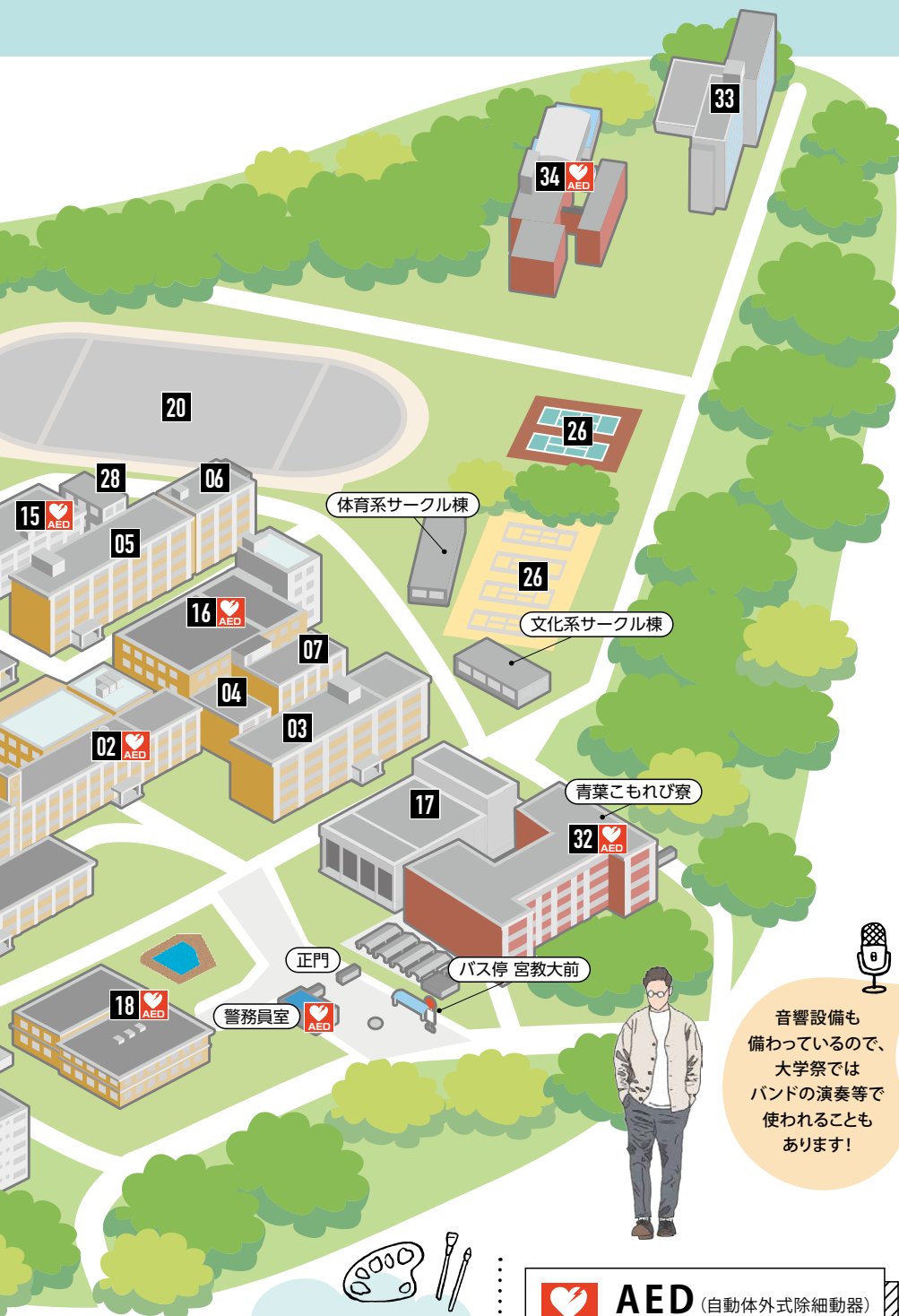
文化サークル共用施設



音楽棟には5つの演習室と
26の練習室があります。
練習室は授業や教員採用試験の
実技試験の練習のために、
学生ならだれでも使用できます
(予約制)。

11 音楽棟





口の字型の建物の中央には
芝生が敷かれています。
芝生の上で美術活動を行うことも!

12 美術棟



13 理科学学生実験棟

 **AED** (自動体外式除細動器)
設置場所

14 技術棟



15 管理棟

音響設備も
備わっているので、
大学祭では
バンドの演奏等で
使われることも
あります!



附属図書館は
学修、教育、研究を
支えるため、
大学の中核として
機能しています。

16 附属図書館



蔵書数は約40万冊に上り、ユニークなものとしては
1万8千冊の児童図書や、江戸期から現在までの5万
冊以上の教科書、指導書を所蔵しています。開館時
間は午前9時から午後8時まで(休業期間中を除く)。
土日も12時から18時まで利用できます。

17 講堂



座席数は604。大学主催
の行事ばかりでなく、授
業やサークルの発表会、
講演会などにも使われ
ています。

18 萩朋会館



大集会室、集会室、国際・地域交流室、交流・談話ス
ペース、大学情報プラザ、同窓会室、食堂、売店があ
ります。

CAMPUS MAP キャンパスマップ

青葉山地区
Aobayama Area

学生サポートに関する施設



就職関係や学生生活等で
困ったことがあったらここ!



キャリアサポートセンター (02 2号館1F)



キャリアサポートセンターにはキャリア形成支援部門とボランティア活動支援部門があります。キャリア形成支援部門では、教員採用試験対策講座のほか、日常的にも個別の進路相談や面接指導を行っています。また、

ボランティア活動支援部門は、ボランティアに関する情報提供、連絡調整を行い、学生の自主活動を支援しています。

19 保健管理センター



保健管理センターは、学生の皆さんの心身の健康を、広い視野から総合的に観察し、増進させ、皆さんが健全な大学生活を送れるよう、健康相談の窓口となっています。専門の医師や看護師が、合理的な指導・助言を行うとともに、けがや病気の応急処置にも応じています。

学生相談室 (10 10号館1F)



学生相談室は、大学生活の中の様々な問題・悩み・心配事について相談に乗り、解決する手助けをしています。些細な心配事から、学業・人間関係・進路・心理的・精神的健康問題・ジェンダーやセクシュアリティのことなど、相談員が幅広く学生の皆さんの訴えに耳を傾け、一緒に解決を目指します。また、相談を更に深めることを希望した場合の体制も整っています。

しょうがい学生支援室 (03 3号館3F)



専任の職員が常駐し、しょうがいのある学生の修学のために必要なサポートを行っています。サポートの多くは学内のボランティア学生によって行われ、しょうがいの有無を問わず活動の中でお互いの役割を確認し合いながら取り組んでいます。こ

この活動が、卒業後社会に出たときの大きな助けになっています。「多目的ルーム」も併設し、支援室利用学生の休憩室としての利用の他、活動の打合せや交流の場として活用しています。

スポーツ施設

20 陸上競技場

21 野球場

22 体育館

23 武道場

24 表現活動実習棟

25 弓道場

26 テニスコート



陸上競技場(400m)を始め、体育館、武道場、ダンス室、野球場、テニスコート、弓道場、表現活動実習棟などが大学構内にあります。





情報活用や防災教育等、
現代の教育課題に対応できる施設も
充実しています。

教育研究施設



27 情報活用能力育成機構



機構は、学校における子どもの情報活用能力の育成に係る教育研究や本学の情報化に係る取組を推進することにより、本学の学生、教員及び地域の学校における情報活用能力の向上に寄与することを目的としています。

28 防災教育研修機構「311いのちを守る教育研修機構」



東日本大震災被災地における経験や教訓を活かし、教員を志す次世代の若者に震災を伝承するとともに、現職教員に対する研修を通じて「いのちを守り」「ともに生き抜く」防災教育を推進するとともに、その研究成果を日本全国および諸外国に発信します。

29 青葉セミナーハウス



大学構内にあり、サークル、クラス、ゼミなどの活動に利用されています。

30 青葉山体験学習室



青葉の森に通じる遊歩道の入口に位置する教育・研究施設です。隣接する青葉山での体験学習など、教育実践研究の拠点などとして活用されています。

31 ほっと広場(災害避難場所)



32 青葉こもれび寮



33 アクティビティ・コモンズセンター



34 附属特別支援学校



上杉地区 Kamisugi Area



宮城教育大学には附属学校
(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)があります。
授業見学や教育実習等で附属学校に行くことも! (P16参照)

附属幼稚園



附属小学校



附属中学校





[大学・附属学校園までの交通機関]

■ 宮城教育大学・附属特別支援学校まで(青葉山地区)

- [地下鉄東西線] ■ 「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、「青葉山」駅下車(乗車時間約9分)、「青葉山」駅「北1出口」から大学正門まで徒歩約9分
- [市営バス] ■ 地下鉄東西線「青葉山」駅「南1出口」前バス乗り場から「宮教大・青葉台」行き乗車、「宮教大前」下車(乗車時間約2分)

■ 附属幼稚園・小学校・中学校まで(上杉地区)

- 仙台駅前バス乗り場から「旭ヶ丘駅」「鶴ヶ谷七丁目」「東仙台営業所」行き乗車、「附属小学校前」下車(所要時間約20分)
- JR仙山線「東照宮」「北仙台」駅から徒歩約10分
- 地下鉄南北線「北四番丁」「北仙台」駅から徒歩約10分

[仙台までの交通機関]

■ 東北新幹線

東京駅	← 1時間35分(はやぶさ) →	仙台駅
新青森駅	← 1時間32分(はやぶさ) →	仙台駅

■ 空路(仙台空港)

新千歳空港(札幌)	← 1時間05分 →	仙台空港
中部国際空港(名古屋)	← 1時間05分 →	
大阪国際(伊丹)空港	← 1時間15分 →	
福岡空港	← 1時間45分 →	
仙台駅	← 仙台空港アクセス鉄道 17分(快速) →	仙台空港

X

Instagram

YouTube

宮城教育大学に興味をお持ちの方へ
プッシュ通知
を設定しよう!
詳しくはこちら! ▶▶▶



国立大学法人
宮城教育大学

URL
<https://www.miyakyo-u.ac.jp/>

